

青年海外協力隊 平成22年度秋要請集

平成22年10月

No.1

農林水産・加工部門



独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/
333.9
SE
22-2



青年海外協力隊 平成22年度秋募集要請集

職 種	国 名	要請番号	ペ ー ジ	
1001	食用作物・稲作栽培	パプアニューギニア	12410B02	1
1001	食用作物・稲作栽培	エチオピア	50610B05	2
1001	食用作物・稲作栽培	エチオピア	50610B06	3
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54510B11	4
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54510B15	5
1001	食用作物・稲作栽培	ガボン	60910B02	6
1001	食用作物・稲作栽培	ルワンダ	63610B15	7
1002	花き栽培	パラグアイ	32410B21	8
1003	野菜栽培	インドネシア	00610B07	9
1003	野菜栽培	ラオス	02410B12	10
1003	野菜栽培	ネパール	06010B07	11
1003	野菜栽培	ネパール	06010B08	12
1003	野菜栽培	トンガ	13010B08	13
1003	野菜栽培	サモア	13910B04	14
1003	野菜栽培	コスタリカ	21510B04	15
1003	野菜栽培	パナマ	25110B01	16
1003	野菜栽培	パラグアイ	32410B06	17
1003	野菜栽培	マラウイ	52410B16	18
1004	果樹栽培	インドネシア	00610B08	19
1004	果樹栽培	ブータン	04810B12	20
1004	果樹栽培	マラウイ	52410B17	21
1004	果樹栽培	マリ	62110B02	22
1004	果樹栽培	キルギス	74510B02	23
1004	果樹栽培	ウズベキスタン	76310B05	24
1006	きのこ栽培	カンボジア	02110B05	25
1006	きのこ栽培	サモア	13910B05	26
1101	病虫害対策	エルサルバドル	22710B11	27
1101	病虫害対策	コロンビア	31510B03	28
1102	土壌肥料	ネパール	06010B09	29
1102	土壌肥料	エルサルバドル	22710B10	30
1102	土壌肥料	ルワンダ	63610B16	31
1201	農業土木	エチオピア	50610B07	32
1201	農業土木	エチオピア	50610B08	33
1201	農業土木	マラウイ	52410B18	34
1201	農業土木	モザンビーク	63010B04	35
1202	農業機械	ブータン	04810B13	36
1202	農業機械	ガボン	60910B06	37
1402	家畜飼育	フィリピン	01210B11	38
1402	家畜飼育	エクアドル	31810B01	39
1402	家畜飼育	エクアドル	31810B03	40
1402	家畜飼育	パラグアイ	32410B08	41
1402	家畜飼育	マラウイ	52410B01	42
1402	家畜飼育	マラウイ	52410B19	43
1402	家畜飼育	マラウイ	52410B20	44
1403	獣医・衛生	ラオス	02410B11	45
1403	獣医・衛生	トンガ	13010B01	46
1403	獣医・衛生	ザンビア	55110B28	47
1403	獣医・衛生	ルワンダ	63610B03	48
1403	獣医・衛生	ルワンダ	63610B04	49
1503	村落開発普及員	ラオス	02410B29	50

職 種	国 名	要請番号	ペ ー ジ	
1503	村落開発普及員	東ティモール	02610B05	51
1503	村落開発普及員	ベトナム	02710B08	52
1503	村落開発普及員	ベトナム	02710B11	53
1503	村落開発普及員	ベトナム	02710B12	54
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05110B05	55
1503	村落開発普及員	モルディブ	05710B05	56
1503	村落開発普及員	ネパール	06010B01	57
1503	村落開発普及員	ネパール	06010B03	58
1503	村落開発普及員	ネパール	06010B04	59
1503	村落開発普及員	ネパール	06010B06	60
1503	村落開発普及員	パプアニューギニア	12410B01	61
1503	村落開発普及員	パプアニューギニア	12410B03	62
1503	村落開発普及員	パプアニューギニア	12410B04	63
1503	村落開発普及員	パプアニューギニア	12410B05	64
1503	村落開発普及員	ソロモン	12710B04	65
1503	村落開発普及員	トンガ	13010B10	66
1503	村落開発普及員	エルサルバドル	22710B01	67
1503	村落開発普及員	チリ	31210B01	68
1503	村落開発普及員	エクアドル	31810B02	69
1503	村落開発普及員	エクアドル	31810B04	70
1503	村落開発普及員	パラグアイ	32410B09	71
1503	村落開発普及員	エジプト	46310B01	72
1503	村落開発普及員	モロッコ	46910B11	73
1503	村落開発普及員	ケニア	51510B06	74
1503	村落開発普及員	ケニア	51510B07	75
1503	村落開発普及員	ケニア	51510B08	76
1503	村落開発普及員	ケニア	51510B09	77
1503	村落開発普及員	マラウイ	52410B02	78
1503	村落開発普及員	マラウイ	52410B03	79
1503	村落開発普及員	マラウイ	52410B04	80
1503	村落開発普及員	マラウイ	52410B21	81
1503	村落開発普及員	ナミビア	52710B02	82
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B10	83
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B12	84
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B13	85
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B14	86
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B16	87
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B17	88
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B18	89
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B19	90
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B20	91
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B21	92
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54510B22	93
1503	村落開発普及員	ベナン	56010B04	94
1503	村落開発普及員	ベナン	56010B06	95
1503	村落開発普及員	ブルキナファソ	56310B10	96
1503	村落開発普及員	カメルーン	56910B04	97
1503	村落開発普及員	カメルーン	56910B05	98
1503	村落開発普及員	カメルーン	56910B06	99
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63010B05	100

青年海外協力隊 平成22年度秋募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63610B13 101
1503	村落開発普及員	セネガル	64210B01 102
1503	村落開発普及員	セネガル	64210B05 103
1503	村落開発普及員	セネガル	64210B07 104
1503	村落開発普及員	セネガル	64210B09 105
1503	村落開発普及員	セネガル	64210B10 106
1601	食品加工	フィリピン	01210B10 107
1601	食品加工	スリランカ	06610B08 108
1601	食品加工	ホンジュラス	23910B07 109
1601	食品加工	エチオピア	50610B09 110
1601	食品加工	ルワンダ	63610B17 111
1602	農畜産物加工	インドネシア	00610B09 112
1602	農畜産物加工	エチオピア	50610B10 113
1603	乳製品加工	エチオピア	50610B04 114
1604	水産物加工	インドネシア	00610B10 115
1702	植林	ジブチ	60310B04 116
1702	植林	セネガル	64210B08 117
1801	水産資源管理	マーシャル	11210B05 118
1802	漁業生産	ソロモン	12710B07 119
1803	養殖	ラオス	02410B13 120
1803	養殖	バブアニューギニア	12410B09 121
1803	養殖	サモア	13910B06 122
1803	養殖	パラグアイ	32410B22 123
1803	養殖	タンザニア	54810B08 124
1803	養殖	ジンバブエ	55410B10 125
1803	養殖	ベナン	56010B03 126
1803	養殖	ガボン	60910B07 127
1902	生態調査	ザンビア	55110B29 128
1902	生態調査	ガボン	60910B05 129
2001	陶磁器	エジプト	46310B02 130
2003	木工	フィリピン	01210B14 131
2003	木工	フィリピン	01210B15 132
2003	木工	サモア	13910B07 133
2003	木工	サモア	13910B08 134
2004	皮革工芸	ボツワナ	50310B10 135
2005	貴金属装身具製作	ザンビア	55110B01 136

この要請集は平成22年8月末までの各国からの要請をとりまとめたものです。

ただし、受入国の事情により、募集から選考までの期間内に、要請の変更・取消が行われることもあります。これらの変更・取消要請に関する情報については、JICA ホームページをご覧ください。

また、10月中旬に同ホームページ上で追加要請が公開となる予定です。

そちらもあわせてご確認ください。



平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22年 7月 9日

要請番号(JL 124 - 10 - B - 02)

調査者名: 山本 昭夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パプア ニューギ ニア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			2	23 / 2	
				3	23 / 3	

プログラム番号・名 1240000000004 プロジェクト名
 食糧自給改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 西ニューブリテン州政府 (受入機関名)(英語) West New Britain Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) ホスキンスセカンダリースクール (英語) Hoskins Secondary School
	3) 任地 ホスキンス 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 600 Km 主要都市(キンベ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州に2つしかないセカンダリースクール(9-12年生)の一つ。1974年に創設された高校で、1992年にセカンダリースクールになり現在に至る。在校生1000名を超えていて、寮生400名を収容している。教員数35名、年間運営費PNGK80万キナ(約¥3000万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校のカリキュラムの中にRural Technology(日本でいう技術家庭)科目があり、現在2名の教員が担当している。このクラスの指導内容の改善と実習による作物栽培での収穫増収を目指している。主な指導内容は、農業および畜産で、稲・野菜の栽培、鶏(採卵)、アヒル、豚の飼育を現在行っている。この授業内容の充実と生産物の増産で得た農産物を寮生活の食料として活用していくことを考えている。学生に対し、卒業後は実家に戻れば自活できるように。効果的な技術習得法を習得させるためにボランティア要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 農業全般の知識・技術の指導 1. 稲作栽培(米の需要は高く、芋・バナナ類とは違い保存ができるので、その増産を目指している) 2. 野菜栽培(アイビカ/現地の葉野菜、キャベツ、オクラ、キュウリなど) 3. 養鶏/採卵、アヒル、養豚など 上記すべてを対応するのではなく、得意な分野の改善から活動として取り上げて行けばよい。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務機器の他、実習用農機具等		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、技術科教師40歳代、男性教員2名、他農場管理人	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジネ))	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・性別 男性 性別理由: 安全対策上 学歴理由: ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 既に進行している活動を活性化するため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 25 日

調査者名: 岩田 章一

要請番号(JL 506 - 10 - B - 05)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
ア	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) ウォレタ農業職業訓練カレッジ (英語) Woreta Agricultural TVET College
	3) 任地 ウォレタ 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 650 Km 主要都市(ハンダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの大稲作地帯に位置する農業職業訓練校。2009年9月から短大に昇格し、4つの学部から構成され農業普及員を育成する機関。配属先は約30人の農業研究員、インストラクターが滞在。JICAの帰国研修員(稲作研修)も副校長として在籍。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約45%を占める農業国である一方、当国は毎年食料支援を必要としている地域が存在する。JICAは、農業分野への支援を重点課題と位置づけ、研究、調査、普及に関する支援を実施している。当国では、新たな作物である稲作拡大を計画している。当該地域には約30年前に紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や不可価値を見出すためのアイデアの欠如や、稲作分野を専門とする人材も不足しているなど課題は多い。絶対的に不足している同分野の技術者育成のため、JICAボランティアの要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先同僚と以下を主に行う。 1. 米の栽培時期(6~10月)に稲作のポテンシャルや有効な種など現場調査を実施する。 2. 収集したデータを基に、稲作指導に必要な資料を作成する。 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 同配属先派遣予定の農業土木隊員、近隣の農業試験場派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業研究員・インストラクター・農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ 英語 (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(温帯気候) 気温(10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
-----	---



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 6 月 25 日

要請番号(JL 506 - 10- B - 06)

調査者名: 岩田 章一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	23 / 3
ア	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名
 農業生産性向上

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) アデット農業試験場 (英語) Adet Agriculture Research Center
	3) 任地 ウォレタ 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(ハンデル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの稲作地帯であるアムハラ州にある農業試験場。1986年に設立。アムハラ州にある4ゾーン(東西ゴジャン、アウィ、南ゴンダール)を管轄し、3つの研究を主に実施(土壌・灌漑関係、穀物・作物関係、混農林業・アグロフォレストリ)している。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー・専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。JICA帰国研修員配属。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約45%を占める農業国である一方、当国では毎年食料支援を必要としている地域が存在する。JICAは、農業分野への支援を最重点課題と位置づけ、研究、調査、普及に関する支援を実施している。今後エチオピアでは食糧支援として、新たな作物の稲作拡大支援を計画している。同地域には約30数年前に紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や付加価値を見出すためのアイデアの欠如や稲作分野の人材不足など課題は多い。育成・収量調査の技術指導、ポストハーベスト技術指導など稲作に関する支援のため要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先同僚と以下を主に行う。 1. 米の栽培時期(6~10月)に稲作のポテンシャルや有効な種など現場調査を実施する。 2. 収集したデータを基に、稲作指導への資料を作成する。 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 同配属先派遣予定の農業土木隊員、近隣の農業職業訓練校派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器のほかは、特になし。		

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 稲作農業研究員(男性・女性)2~3名 その他農業研究員、インストラクター、農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		

経験 実務経験 2年以上	経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため	理由:	理由:
--------------	--------------------------	-----	-----

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯気候) 気温(10~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 5日

調査者名:佐藤 宏美

要請番号(JL 545 - 10 - B - 11)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 545000000012 プロジェクト名 コメ振興

1)受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries

2)配属先名 (日本語) プリンディ農業試験場
 (英語) Naro-Bulindi Zonal Agricultural Research & Development Institute

3)任地 ホイマ県プリンディ
 首都(カンパラ)から 北西 方向 220 Km
 主要都市(カンパラ)までの交通手段及び所要時間(車で約 3.5 時間)

4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農業畜産水産省の下、2000年に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設。①ホイマを中心とした西部地域近隣9県における農業生態圏に適した農業技術の開発、②モデルファーム(広さ約100ha)としての機能、③優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、④農業指導者への訓練や農業従事者への研修、⑤宿泊施設、教室などの施設提供等を行っている。スタッフ約50名。

1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカの米生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げており、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は周辺の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、ホイマ県周辺における稲作にも興味を示している。しかしながらまだ米農家の数は限られており、適切な栽培方法の指導が求められることから、ボランティアが要請された。

2)期待される具体的業務内容
 活動地域の米作状況を調査把握した上で、
 1. 活動地域内の米栽培に関心のある農家を選定する。
 2. 稲作分野のJICA専門家と協力しながら、同プロジェクトに関連する他の隊員や活動地域の普及員とともに、米栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。
 3. 栽培・収穫後処理にかかる問題点を把握する。
 4. 農家の副収入の向上につながるようなアイデアを紹介する。
 5. 配属先の試験ほ場を利用し、各種栽培試験を行う。

3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 農業器具一式、トラクター1台、ピックアップ2台、発電機2台、プリンタ、コピー機、プロジェクター一式

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Researcher(Scientist) 15名 Sector Manager 7名 施設職員 12名 警備員 3名	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (ニヨロ語)	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 修士 農学
 経験理由: 理由: 村落部への巡回に必要なため

理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 545 - 10- B - 15)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5450000000012 プロジェクト名
 コメ振興

1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所
 (英語) National Crops Resources Research Institute

3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ
 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km
 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある作物資源研究所は、首都カンバラの北25kmに位置し、食用作物全般の研究を実施している。JICAは2004年6月から個別専門家「ネリカ米適用化技術」を継続的に派遣し、ナムロンゲ農業研究所のネリカ品種試験を実施し、研修や種子配付を通じた普及活動を展開し、2008年からはコメ振興プログラムの下「ネリカ米振興プロジェクト」を開始した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げており、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。しかしながら未だ適切な栽培方法の指導が求められることから、JICAプロジェクトと連携しつつ、必要な技術指導を行なうための長期隊員の派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 1. プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施
 2. 農家圃場における実証試験の実施
 3. ウガンダ各地で活動するネリカ隊員への技術的支援
 4. 同プロジェクトに関連する他の隊員や活動地域の普及員とともに、稲栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 試験・実験機材一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ネリカの研究を行っているCereal Programには総勢14名のスタッフがいる。うち、Researcherは博士号、Research Assistantは修士号を有している。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ガンダ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・学歴 大卒 農学
性別理由:
学歴理由: 栽培試験等を行うため

・小型自動二輪以上
経験理由:
理由: 村落部への巡回に必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 5日

要請番号(JL 609 - 10 - B - 02)	調査者名: 小竹 一嘉
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガボン	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 2	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 6098888888888888 プロジェクト名 基礎農業普及プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Farming, Fisheries and Rural Development

2) 配属先名 (日本語) 農村開発庁(クグルウ・パイロットセンター)
(英語) National Office of Rural Development (ONADER)

3) 任地 エスチュエール州クグルウ町
首都(リーブルビル)から 東 方向 60 Km
主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
農村開発庁は国内における農業・家畜飼育従事者の育成、組合活動支援、農業及び家畜飼育技術の普及・指導及び農地提供を行っており、年間予算は44億フランセーファー(約8.8億円)。現在6州15か所において食用作物及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。日本以外に外国の援助はなし。2010年1月から協力隊員の派遣が開始されたところである。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同国の食料自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つであるが、農業従事者の割合が低く、予算措置も少ないことからあまり進んでいない状況である。同国の農業従事者はプランテーション・バナナやマニョック(キャッサバ)の栽培が主流。2008年、同国においても日本の協力によってサブサハラアフリカ諸国で成功例が報告されているネリカ米の試験栽培が同配属先によって開始され、順調な生育が確認されてきているものの、農民への米栽培技術のさらなる向上を目指し、国内におけるネリカ米の普及と定着を図ることを目的として、本要請が出されるに至った。

2) 期待される具体的業務内容
主な活動としては、以下のとおり。
・同センターで行う稲作栽培状況に係る調査および栽培技術改善に係る活動。
・配属先同僚及びガボン国内における稲作栽培状況調査および栽培技術改善に係る活動。
・地域の農業従事者に対し、配属先同僚とともに稲作を行っていく上での改善策の提案・専門的指導。
・同分野で活動する協力隊員と連携し、稲作が普及・定着するためのアイデアの創出・提案。
・全国各地への種籾供給システムの確立支援。
・その他、自身の得意とする分野の地域住民への副次的貢献活動の実施。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
農具、農作業着

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
総裁(50代男性)、技術局長(40代男性)、センター付コーディネーター(30代男性)
※指導対象者は地域の農業従事者等

5) 業務使用言語
◎ フランス語
()
○
()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 現地農民への技術指導が求められている
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯雨林) 気温(22~32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 8月 10日

要請番号(JL 636 - 10 - B - 15)

調査者名: 吉永 由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ルワンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 3	
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 東部県地方開発プログラム
 プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government
	2) 配属先名 (日本語) 東部県ゴマ郡ルレンゲセクター事務所 (英語) Rurenge Sector Office
	3) 任地 東部県ゴマ郡ルレンゲ 首都(キガリ)から 南東 方向 106 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.75 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2006年の地方分権化によって、ルワンダの行政は4県及びキガリ市、30郡体制へと再編された。ルレンゲセクターの人口は約22,700人、37の再定住地域を含む6つのセルの上部機関であり、住民組織とともに地域住民への行政サービスに取り組んでいる。気候は温暖で降雨量は年間1,100mm、米のほかにソルガム、メイズ、キャッサバなどの食用作物が栽培されており、住民の90%は農業従事者である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同セクターはゴマ郡の北部に位置し、湿地を利用した二期作の稲作栽培が盛んな地域である。稲作関連の農業協同組合は3つあり、そのうちの代表的な稲作協同組合COPRIMWAの2008年稲作栽培面積は205ha、700名の組合員を擁している。世銀やルワンダ政府のプロジェクトが実施されており、篤農家を中心とした稲作栽培の指導や種籾栽培など、更なる稲作振興が期待されている。また、稲作協同組合への活動支援も期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農業協同組合の圃場は配属先から5-7キロ程度離れており、農業技官と共に稲作栽培や種籾栽培等の技術的指導を行う。 2. 湿地を利用した二期作の稲作栽培であることから、集約的栽培方法による収量増加技術が求められる。(現状は3-4t/ha、目標7t/ha)農業協同組合員又は現地農民を対象に稲作栽培指導をし、組合員の生計向上・生活改善を行う。 3. 稲作共同組合の強化(組織運営)や種籾生産技術の指導等も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務所(机、椅子)		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル セクター長、社会問題担当、農業技官(40代男性)各1名 住民団体 団团长 男性 40代	5) 業務使用言語 ◎ フランス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

性別理由:	
学歴理由:	・学歴 高等専門学校卒 農学
経験理由:	・稲作栽培経験
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯性) 気温(15-30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 324 - 10 - B - 21)

調査者名: 森田 音佳

国名	職種 / 指導科目 (コード 1002)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 花き栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Flower Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名
小農自立化支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) CEA農業学校 (英語) Agricultural High School Educational Confederation
	3) 任地 イタプア県ベジャビスタ市 首都(アスンシオン)から 南東 方向 415 Km 主要都市(エンカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) CEA農業学校は、ドイツ系住民を中心とした地域の働きかけで1987年に創立された私立の農業学校で、域内の農業技術レベルの向上に寄与する他、市役所との連携で小農支援にも取組む意識の高い組織である。年間予算は約13万米ドルで、授業料、地域企業からの寄付、農牧省助成金等により賄われている。草の根無償資金協力により食品加工棟が建設された経緯より食品加工JOCVが派遣され、現在は野菜栽培JOCVが活動中。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校では、野菜栽培の他、キャッサバなどの畑作、畜産(中小家畜)、柑橘類などの果樹栽培、ステビア等のハーブ栽培まで幅広く教えている教育機関である。現在活動中の野菜栽培JVが開始した菊栽培が定着しつつあるが、その技術レベルは未だ低く、継続した支援が必要とされている。電照菊栽培も開始されているが、これ以外にバラとカーネーションの栽培技術を獲得し、その技術を同校の学生のみならず、周辺農家(特に女性対象)にも普及し、将来的にはこれら3種の花弁のイタプア県内での生産・供給を可能にしようというものであり、同分野でのJOCVの派遣が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 農業学校の学生を対象とし、実習を通じた花卉全般にわたる栽培技術の向上、特に菊、バラ、カーネーション栽培技術の導入および向上を図る。 2. 周辺農家・小中学校支援を目的とした花卉・野菜の育苗(市役所所有の育苗施設にて)および、農家・小中学校への巡回による花卉栽培技術支援(市役所との連携活動)。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 50歳代 男性(野菜部門担当) 教師陣 20~40歳代 男性・女性(食品加工部門、獣医師、一般科目、事務局員等) 15名。 生徒 53名 16~18歳 男性・女性	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ その他 (グアラニー語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 社会経験 2年以上 経験理由: 幅広い年齢層に指導する立場であつため 理由: ・自動小型二輪以上 理由: 農家巡回に必須であるため。		

資格条件	性別理由:
	学歴理由:
・経験 社会経験 2年以上	経験理由: 幅広い年齢層に指導する立場であつため
	理由:
・自動小型二輪以上	理由: 農家巡回に必須であるため。

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車 農家巡回に必須であるため。			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 19日

要請番号(JL 006 - 10- B - 07)	調査者名: 伊佐治 直樹
-----------------------------	--------------

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 ○ 代目	●2年 ○1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名 南スラウェシ州地域開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局
 (英語) Bantaeng Local Government, Agriculture Office

3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県
 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km
 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 南スラウェシ州の南部に位置する同県は、州内で最も小さい県である。人口は18万人でその75%が農業に従事する農業県でもある。2008年より就任した同県知事は、同県の収入を増やすべく様々な取り組みをしており、同知事就任後、県収入は1.5倍に伸びている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 農業県である同県は、収入のほとんどが農産物(一部は海産物)によるものである。これまで、ジャガイモ、トマト、ニンジン、キャベツ等が栽培されてきたが、今般、サトイモ、サツマイモの栽培を始める事になった。これらは、まだ南スラウェシ州内では栽培されておらず、輸出も含め新たな収入源として期待できることから、県知事自らが推し進めている。現在は試験的に50ヘクタールで栽培し、一株から0.8~1.5Kgを収穫している。同県としては、来年以降、栽培面積を増やし、また一株あたりの収穫量の増加を目指しており、JOCVの協力を求めている。

2) 期待される具体的業務内容
 ボランティアは赴任後、標高約800mの農村(カユロイ村 農家軒数:約500軒)に居住し、農民グループリーダーと共に以下の活動を行う。
 ①主にサトイモ、サツマイモの栽培指導
 ②サトイモ、サツマイモの種イモの栽培・保存指導。
 また、可能であればその他の地域も巡回し、栽培指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 一般的な農機具等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 農民グループリーダー:男性、40代
 その他、農民グループ農家

5) 業務使用言語
 ● インドネシア語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: 大卒 農学 基本的知識が必要のため。
 経験理由: 実務経験 2年以上 配属先要望による
 理由: _____
 理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯雨林) 気温(25~30 (任地18~25) °C位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 024 - 10- B- 12)

調査者名: 小熊 誠

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 0240000000019 プロジェクト名 農林業・農村振興及び農林業行政強化

1) 受入省庁名(日本語) 農林省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry

2) 配属先名 (日本語) 北部農林短大
(英語) Northern Agriculture and Forestry College

3) 任地 ルアンパバン
首都(ビエンチャン)から 北 方向 410 Km
主要都市(ルアンパバン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.4 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
1989年に農林職業短大として設立。その後、訓練センターと統合するなどして、3年制の農林短大となる。スタッフ76名(うち教員37名、技師22名)、学生数280名である。コースは、作物科、畜産水産科、農業経営科、森林科がある。現在、スイスの支援で、新校舎の建設とカリキュラムの作成の支援を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
農業短大は、今まで4名の隊員を受け入れてきた歴史があるが(註:野菜栽培の隊員は初めてである)、2009年より、2020年までを期間とした学校改革に取り組み始めたところである。具体的には、カリキュラム強化、教師の質の改善や実習の質の改善を掲げており、そのような背景の中、協力隊員の要請が再び挙げられた。

2) 期待される具体的業務内容
1 実習時に同僚教員とともに、学生に対し栽培技術の指導を行う。
2 講義の時間に、同僚教員のアシスタントとして資料作成を行う。
3 収穫された作物の販売を手伝う。
4 日本の農業について、学生に紹介する。
なお、栽培されている野菜は、ブロッコリー、キャベツ、すいか、きゅうり、ナガササゲ、にんじん、トマト、トウガラシ、ナス、レタス、空芯菜、じゃがいも、香菜などがある。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
鋤、鋤、じょうろ、カゴ、圃場(1ha)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
教員 男性 33歳

5) 業務使用言語
● ラオス語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
性別理由:
・学歴 大卒 農学 学歴理由: 短大で教員として教えるため
・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 短大で教員として教えるため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号(JL 060 - 10 - B - 07)

調査者名:小澤 重久

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 野菜栽培 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年	1	23 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)		○1年	2	23 / 3
			○ヶ月	3	/

プログラム番号・名: 食料安定供給プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives

2) 配属先名 (日本語) バクタプール郡農業開発事務所
 (英語) District Agriculture Development Office, Bhaktapur

3) 任地 バクタプール郡バクタプール
 首都(カトマンズ)から 東 方向 10 Km
 主要都市(カトマンズ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 40 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 郡内に本所の他に6つのサービスセンターを持ち、郡内の農業普及事業、灌漑事業、高付加価値穀物普及事業を実施している。年間予算約900万円で、郡内総スタッフ数42名。日本種のカキ、ナシの普及を通して農民の収入向上を目指し2007年7月まで実施されていたボランティアプロジェクト園芸普及計画の対象エリアの一つとして、これまで数代にわたり野菜隊員が派遣されてきている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同地域は首都カトマンズに隣接しており、現在JICAが建設しているバクタプール道路の完成より、首都へのアクセスが大幅に改善される地域である。農家は、市場の要求に応えられる高付加価値野菜栽培の普及及び技術支援を求めている。現在活動中のJOCV(2011年6月まで)は、配属先と協力し有機栽培のデモンストレーションや一村一品の活動に取り組んでいる。配属先では市場へのアクセスを利用し、フルーツキャンデーを一村一品の商品として販売を開始した。ボランティアには有機栽培技術の普及や一村一品活動などへの支援が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 配属先の活動のうち次の内容について、スタッフと共に管轄地域の農民支援を行う。
 1. 野菜栽培技術の普及
 2. 野菜栽培に関する課題の特定
 3. 有機もしくは減農薬野菜栽培の支援

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 特になし。農作業・農業指導に必要な基本農具・用具はそろっている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長1名 男性 50歳代 企画・計画、病虫害、果樹、普及の各セクションに普及員もしくは普及員補、男性、女性で数名 40歳代他事務スタッフ等数名	5) 業務使用言語 ● ネパール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 専門知識が必要のため
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号(JL 060 - 10 - B - 08)

調査者名:小澤 重久

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ネパール	職種 野菜栽培 指導科目	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	23 / 3	
	3			/		

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名 農業農村開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives

2) 配属先名 (日本語) カスキ郡農業開発事務所
 (英語) District Agriculture Development Office, Kaski

3) 任地 カスキ郡ポカラ
 首都(カトマンズ)から 西 方向 200 Km
 主要都市(カトマンズ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農業省が各郡に設置する農業技術指導の拠点で、技術セクションは5分野(農業普及、果樹、病虫害、計画、淡水魚)に分かれています。配属先は、地域のニーズに合わせて、農民や漁民に対するセミナー開催、巡回等による技術指導を行っている。特に近年は、有機野菜や端境期の作物栽培技術に係る技術指導に力を入れている。年間予算は約2000万円。NGO等との連携により外部資金も得ている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 配属先は、数年前から農村開発の国際NGOと共に、所管地域内3エリアで、農民グループや協同組合を活性化のために、有機野菜、端境期の農産物の生産指導を実施。また、乾期の対策として、小規模灌漑(点滴灌漑や貯水タンクからの配水システム)や施設栽培を導入することによって、農家の組織化と収入を向上を図る活動を行っている。現在、ある程度の農産物を生産、出荷できるようにはなったが、より収益の上がる作物の選定、栽培技術の普及、農民組織の強化、マーケティングに関する技術指導等の課題があり、野菜隊員の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 以下の活動について、配属先スタッフと連携しながら行う。
 1. 適正な品種の導入、病虫害対策、収穫後の技術指導
 2. 有機栽培や端境期の野菜栽培
 3. トマトのビニールハウス栽培指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 農作業・農業指導に必要な、基本的農具・用具は揃っている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 所長 1名 50歳代
 企画・計画、病虫害、果樹、普及の各セクションに普及員もしくは普及員補、男性、女性で数名
 30-40歳 代計25名

5) 業務使用言語
 ◎ ネパール語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 ・学歴 専門学校卒 農学 学歴理由: 専門知識が必要のため
 ・経験 実務経験 3年以上 経験理由: 農民グループとともに活動するため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(6-35℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 9日

要請番号(JL 130 - 10 - B - 08)

調査者名: 井上 雅史

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 1300000000007 プロジェクト名
 職業訓練・生計向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・女性・文化省ボランティア委員会 (受入機関名)(英語) Volunteer Committee, Ministry of Education, Women's Affairs and Culture
	2) 配属先名 (日本語) (NGO)トンガ青少年国民会議 (英語) (NGO)Tonga National Youth Congress
	3) 任地 ババウ島ネイアフ 首都(ヌクアロファ)から 北東 方向 300 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はトンガにおける青少年活動の促進とリーダー育成を目的として1991年に設立されたNGOで、トンガ国内のボランティア派遣事業のほか、HIV/AIDSの啓発・教育、マイクロクレジットや農業振興による生計向上などの事業を行っている。年間予算は約1100万円で、その多くは豪州、UNDP等のドナーからの資金により賄われている。豪州、米国等からのボランティアを受け入れている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、農村部の青年の生計向上拡大のため、有機農法の指導と研修を実施しているが、経験や知識が十分ではないため、研修コースの運営に問題がある。また、オーストラリアの有機農法認証の取得を目指している。野菜栽培は青年の生計向上以外にも、家庭菜園普及による栄養改善も期待されているため、配属先での研修以外にも学校や職業訓練校での農業指導も期待されている。現在はキャベツやレタス等の葉物とトマトやピーマン、にんじん、ハーブ等地元で消費されやすい野菜を栽培している。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 配属先の農場での研修コースの企画運営 2. 配属先スタッフに対する有機農法全般に関する技術指導(具体的には、任地で入手可能な原材料を使用した効率的なコンポストの作り方、混植(コンパニオンプランツ)、病虫害防除、木搾酢の知識など。) 3. 学校や職業訓練校での技術指導 4. 配属先スタッフと共に各地区の青少年グループの農場を巡回し、有機農法の実施状況に関するモニタリング及び必要な技術的なアドバイスの実施	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 グリーンハウス、耕運機、草刈機、堆肥小屋	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先の同僚はJICA研修を終了し農業の知識もあるが、研修生のほとんどは農業経験が無い。年齢は17歳~25歳。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (トンガ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		

資 格 条 件	性別理由:
	学歴理由:
	●経験 実務経験 経験理由: 栽培経験に基づく指導が求められるため
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 5 日

調査者名:高木 哲也

要請番号(JL 139 - 10 - B - 04)			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間
サモア	職種 野菜栽培 指導科目	○新規 ◎交替 3 代目	派遣希望時期
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)		JOCV/SV
			日系/短期等
プログラム番号・名 1390000000004		プロジェクト名	
職業技術教育訓練			
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 財務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Finance		
	2) 配属先名 (日本語) ウェスリー中等学校 (英語) Wesley College, Methodist Board of Education		
	3) 任地 ファレウラ 首都(アピア)から 西 方向 11 Km 主要都市(アピア中心地)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キリスト教メソジスト派教育委員会が運営する中高等学校(9~13学年)である。生徒数は約500名、教師数は現在27名。英語、数学、科学、生物、社会、サモア語、コンピュータ、農業科学等の教科を教えている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サモアでは、2000年から農業科学の授業が選択科目として教育課程に組み込まれてきた。配属先でもそれに伴い農業科学の授業が開始された。しかし、サモア全体で農業科学を指導できる教師が慢性的に不足している。配属先では現在1名のサモア人農業科学の教師が担当している。同教師と協力して農業科学の授業の改善に向けた継続した協力の必要性から今回の隊員派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 同僚教師と協力して、 1. 農業科学の授業を担当する。教科書に沿って基本的な野菜栽培、肥科学、畜産、栄養学、農業経営等の授業を実施する。 2. 圃場にて農作物栽培についての実習指導を行う。 3. より実践的な教材開発や授業内容の改善に向けた活動に取り組む。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ナイフ、フォーク、シャベル、鋤、ツルハシ、一輪車、散布器、黒板、チョーク、実習圃場等。		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚農業科学講師1名(男性、50歳代)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: ・学歴 専門学校卒 農学 学歴理由: 実際に授業を実施するのに必要である。 ・経歴 実務経験 2年以上 経歴理由: 実際に指導するのに必要である 理由: 理由:		
活動用交通手段の必要性		研修等	形態
○有 ◎無 ○車輜 ○単車 ○自転車			N
			X
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)			
概地況	気候(熱帯海洋性) 気温(25-32℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)
概地況	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)		

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 9 日

要請番号(JL 215 - 10 - B - 04)

調査者名: 根本 尚

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コスタ リ カ	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名: 市民の生活の質向上
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Stockbreeding
	2) 配属先名 (日本語) ウパラ農牧サービス事務所 (英語) Agriculture Service Agency of Upala
	3) 任地 アラフエラ県ウパラ市 首都(サンホセ県サンホセ市)から 北西 方向 236 Km 主要都市(サンホセ県サンホセ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧省は農業・牧畜に従事する人、家庭、地域に対し、生産性の向上と地域開発(天然資源維持管理)や人々の生活の質改善を目指した技術サポートを実施している。また、零細農牧家が健康・食・福祉の確保が可能となるように関係省庁各所との調整を行っている。配属先は北部国境地帯の特に零細農牧家が多い地域を管轄しているため、住民の自給自足の確立と安全な食品確保を目指すプロジェクトを実施している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 貧困層が多く見られる北部国境地帯において、農牧家の生産能力向上と地域開発が急務となっている。しかし貧困が人々の不健康を招き、特に被害を被りやすい子供の多くが栄養不良の問題を抱えており、その現状が地域開発の遅れを助長している。配属先が実施している『ウパラ国境地帯住民の混合農園プロジェクト』はそれらの問題を抱える地域・人に対し、低コストで実現可能な農業技術移転を行い、家庭菜園を充実させることで、安全で必要な分の食品を自力で調達することを目指している。現在2代目隊員が地域住民へ有機農業技術移転を実施しているが、今後も引続いて同様の技術移転が切望されていることから、今回の要請になった。	
	2) 期待される具体的業務内容 『家庭における農業・家畜(鶏・豚)の混合菜園プロジェクト』 1. プロジェクト指定地域に暮らす農民家庭訪問と状況調査、技術指導・助言 2. 有機農業技術と農場内資源の維持管理技術に関する講習会の実施 3. 農産物生産技術の定着を促す家庭へのフォローアップ、高校生の野菜栽培プロジェクトへの協力 4. 生産農産物の種類増加 (家庭菜園)いも類、うり類、葉物、フルーツ(バナナ・パイナップル)等を栽培 (有機栽培)堆肥は家庭生ごみ、草、落ち葉等を利用	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式、パソコン、インターネット	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務所長: 男性(50歳代) 同僚: 男性5名(40歳代)、女性1名(50歳代) 農業・牧畜技術普及担当、有機農業担当、地域開発担当 対象零細農家・牧畜家: 100家族 対象高校: 2校	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
	性別理由:			
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 活動上必須		
	・経験 実務経験	経験理由: 1年以上 活動上必須		
	・有機農業に関する知識	理由: 活動上必須		
		理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯) 気温(26~35 ℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 1 日

要請番号(JL 251 - 10- B- 01)

調査者名: 生田 由美子

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パナマ	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Vegetable Growing			3	23 / 3	
	指導科目(英)					

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名
 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of agriculture and development
	2) 配属先名 (日本語) ベラグアス県 ラ・メサ支所 (英語) Prefecture in Veraguas, Branch office in La Mesa
	3) 任地 ベラグアス県ラ・メサ 首都(パナマ市)から 西 方向 38 Km 主要都市(サンチアゴ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧開発省は全国各地に事務所・支所を持ち、農牧畜業に関する技術・知識の普及を図るべくコミュニティへの巡回指導・講習会などを実施している。また、有機肥料を使った農業の促進・アグロツーリズム・農民の自給自足の確立・グループの組織化に力を入れている。2010年予算はUS\$2,559,417である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先には6名の農業技術普及員がおり、各コミュニティ・学校へ巡回を通じて地域住民・小中学生・教師に大して農業指導を行い、自給自足の達成を推進している。主な対象作物は、豆、ナス、トマト、キャベツ、イモ類等であり、学校によっては養鶏場も所有している。ボランティアには、現地の農業技師とともにコミュニティや学校を巡回し、適切な野菜栽培方法・栽培に関する助言を通して各菜園の収穫率を上げ、継続的な菜園作りの運営活動を促進することが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1.ベラグアス県のコミュニティ・学校を巡回し、地域住民・小中学生・教師に対して野菜栽培支援・栽培技術の向上に関する講習会の計画と実施を行なう。 2.各コミュニティ菜園・家庭菜園における野菜収穫率向上のための技術支援を行なう。 3.各コミュニティの自給自足率向上へ協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務机		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル C/Pは農業技師(男性・40代) 農業技師(6名)・教師・小中学生・地域住民	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 農学	性別理由: 学歴理由: 業務の遂行に必要なため 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯) 気温(25~35) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--	--------------------------------------

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 24 日

要請番号(JL 324 - 10 - B - 06)

調査者名: 澤田 和宏

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 ピラポ市総合コミュニティ開発プロジェクト
 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) ピラポ市役所
 (受入機関名)(英語) Pirapo City Office

2) 配属先名 (日本語) ピラポ市役所
 (英語) Pirapo City Office

3) 任地 イタプア県ピラポ市
 首都(アスンシオン)から 南東 方向 450 Km
 主要都市(エンカルナシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同市は日系移住地の一つで今年入植50周年を迎える。人口は約7,000人、うち1,200人が日系人である。JICAは現在も日系人子弟研修などの協力を行っており、2007年には市役所へJOCV(野菜)、日系社会青年ボランティア(高齢者福祉)を日本人会へ派遣している。市議会には、教育、保健衛生、治安などの委員会があり、公共サービスを提供している。年間予算は約1億円(2009年度)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同市では大農家が発展していく一方で、市総人口の40%を超える約3,000人の小農との経済格差は、地域内社会経済の構造を不安定にしている。この中において、ピラポ市役所は2006年から総合的な小農自立化支援プログラムを、生産、教育、保健衛生分野において関係省庁と連携しながら進めており、それと連動する形で2009年より5職種の協力隊員のチーム派遣を開始した(2016年3月までの予定)。7月に野菜、家政隊員、11月に小学校教諭、2010年4月にプログラムオフィサー、公衆衛生隊員が1名ずつ派遣されている。

2) 期待される具体的業務内容
 1.市役所の所有する展示圃場の充実とその運営を行う。
 2.対象となっている地区を巡回し、小農に対する野菜栽培を巡回指導する。
 3.チーム内の教師隊員と連携した学校菜園の指導を行う。
 4.チーム内の家政隊員と連携した食品加工方法の開発、指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 執務室、ボランティアチーム共用パソコン、プリンター、展示圃場、温室、ミズ堆肥槽。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 市長(プロジェクト総括責任者) カウンターパート:市農業班担当者 男性 20歳代 市保健班担当者 女性 40歳代 展示圃場作業員: 男性 20歳代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ その他 (グアラニー語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 ・小型自動二輪以上 理由: 地域コミュニティへの訪問指導のため
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車		P	x

地域コミュニティへの訪問指導のため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 1 月 8 日

調査者名: 関 香織

要請番号(JL 524-10-B-16)

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 野菜栽培 指導科目 園芸作物	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Horticultural			2	23 / 2
				3	23 / 3
				年	月
				から	

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名
 農村生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) 天然資源専門学校 (英語) Natural Resources College
	3) 任地 リロングウェ 首都(リロングウェ)から 西 方向 15 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1985年にカナダ政府の協力により開校した農業技術者養成専門学校であり、中高等学校卒業後進学する学生と、政府職員(農業普及員)の再訓練コースの2種類の学生を対象としている。毎年800名の卒業生を輩出し、そのうち60%が農業普及員である。同校は農業一般・灌漑・畜産・園芸・栄養・土地管理・環境と7つのDiplomaコースに分かれている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 園芸作物学科では講師陣の充実が望まれているが、人材不足は否めず14科目のうち現在講師2名の中で、教授可能なもののみ指導している。それ以外は外部からの講師を雇用しているが、講義の質が低い上、様々な理由から定着しない。そのため配属先は講義数の増加と講義内容の改善による学科のレベル向上を目指してボランティアの要請に至った。前任者は講義以外に野菜、きのこの施設栽培やほかし肥の作成、圃場での実習(化学肥料との比較実験等)を行った。		
	2) 期待される具体的業務内容 1.園芸作物学科の指導学科のうち、講義可能な科目を担当(指導科目は着任後配属先と相談) 2.指導科目の実習概要の作成と実習の実施 3.試験問題の作成と試験の実施 4.学科のカリキュラム作成会議への参加		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、文房具(コピー用紙等)、実習用圃場(約1ヘクタール)		
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:40歳代男性1名:農学部卒 50歳代男性1名:営農学 修士卒	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 専門学校で教えるため
	・経験 指導経験 3年以上	経験理由: 即戦力が必要なため
理由:		
理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(サバンナ) 気温(15~35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 19日

要請番号(JL 006 - 10- B - 08)	調査者名: 伊佐治 直樹
-----------------------------	--------------

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 果樹栽培	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名 南スラウェシ州地域開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局
 (英語) Bantaeng Local Government, Agriculture Office

3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県
 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km
 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 南スラウェシ州の南部に位置する同県は、州内で最も小さい県である。人口は18万人でその75%が農業に従事する農業県でもある。2008年より就任した同県知事は、同県の収入を増やすべく様々な取り組みをしており、同知事就任後、県収入は1.5倍に伸びている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 農業県である同県では、収入のほとんどが農産物(一部は海産物)によるものである。一般的な果実、野菜等の品質向上を目指すとともに、新たな品種の栽培を始め、農家及び県の収入増加を目指した活動に取り組んでいる。野菜については、サトイモ、サツマイモ、果実についてはリンゴ及びイチゴの栽培を開始している、特にリンゴについては、当国東ジャワ州より1年前に1万本の苗木を購入、また、今年は新たに2万本の購入を予定しており、今後、栽培本数を増やす計画である。栽培は標高1,400Mの農村で行われており、今般、同農村の技術、知識の向上を目的に、JOCVの派遣を希望している。

2) 期待される具体的業務内容
 ボランティアは赴任後、標高約1,400mの農村(ポントロジョン村 リンゴ農家軒数:約30軒)に居住し、農民グループリーダーと共に以下の活動を行う。
 ①リンゴの栽培技術指導(剪定、整枝、施肥、摘果等)
 ②リンゴの苗木栽培指導。
 リンゴ農家はイチゴ栽培も同時に行っていることから、可能であればイチゴ栽培技術についても農民グループと技術向上への取り組みを行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 一般的な農機具等。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 農民グループリーダー:男性、30代
 その他、農民グループ農家

5) 業務使用言語
 ◎ インドネシア語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 基本的知識が必要なため。
 学歴 大卒 農学
 経験理由: 配属先要請による。
 経験 実務経験 2年以上
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(熱帯雨林) 気温(25~30 (任地15~25) °C位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(安定 □不安定 □なし)

平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 1月 6日

要請番号(JL 048 - 10- B- 12)

調査者名:柴崎 栄司

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 果樹栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Fruit Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 0480000000013 プロジェクト名
 農業技術開発・普及プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests
	2)配属先名 (日本語) リミタン農業試験場 (英語) Renewable Natural Resources Reserch and Development Center, Limithang
	3)任地 リミタン 首都(ティンブー)から 東 方向 430 Km 主要都市(モンガル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業試験場は、農林畜産分野の試験・普及を通して、農家の技術向上と現金収入増を目指す機関である。東部地域はモンガル県ウエンカル農業試験場が統括し、同配属先はその下に設置されているセンターの一つである。園芸(野菜・果樹)、作物(穀類、豆類など)、飼料作物、薬用植物、森林の5部門がある。2010年より、ウエンカル農業試験場を拠点として東部6県を対象とする技術協力プロジェクトが3月より開始されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 首都から任地までは車で2日、標高700mとブータン国の中では低地で亜熱帯気候にある。配属先では、当地に適した品種を選定し、試験場内での栽培方法の試験・研究を行い、さらに将来的な周辺市場への出荷を視野に入れた近隣農家への栽培指導・普及活動を行うことが求められている。しかし、農業試験場として、条件を変えた、栽培、記録、分析という点が十分に機能していない。そこで、2004年12月から野菜隊員が2代にわたり赴任し、試験栽培を支援してきた。任地を含む東部地域を対象としたJICA技術協力プロジェクトが果樹を中心として開始されるため、連携がとりやすいよう、果樹での要請となった。		
	2)期待される具体的業務内容 ・試験場内の圃場の整備(土壌改良、区画整理(作付け計画策定)) ・試験場内において、最適品種の選定、試験的導入、栽培、収穫、記録をスタッフと行う(アボガド、マ ンゴー、ライチー、シトラス、パッションフルーツ、ザボン、グアバ) →気候、市場の嗜好、作付け計画、流通時の耐久性・重量なども考慮した商品作物の育種選定 ・近隣農村への栽培指導(品種の選定、病害虫に対する対策、市場動向に合わせた作付け計画の策定など) ・ウエンカル農業試験場を拠点とするJICA技術協力プロジェクトの専門家と連携し、意見交換や近隣農家への指導を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鋤、パワーテラー、トラクター、灌漑設備、温室(苗床)、鎌、スコップ		
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 園芸部門スタッフ 2名(オフィサー)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
		学歴理由:
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 果樹栽培指導に必要
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況 地 域	気候(亜熱帯) 気温(15-45℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------------------	---

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 1 月 7 日

要請番号(JL 524 - 10 - B - 17)

調査者名: 関 香織

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 果樹栽培 (コード 1004)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名
 農村生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) デッツァ県農業事務所 (英語) Dedza District Agriculture Development Office
	3) 任地 デッツァ 首都(リロングウェ)から 南東 方向 85 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置しており、ADDの下には県農業開発事務所(DAO)、その傘下には普及所(EPA)が配置されている。デッツァDAOは管轄地域に10箇所のEPAがある。通常農業技術支援はDAOの職員からEPAの普及員に、最終的に農民へ寄与する形式になっている。同配属先に村落開発普及員の隊員が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) デッツァDAOの管轄地域には、大小様々な果樹農家が存在するが、それらの組織を指導する人材が不足しており、行政の支援を受ける事ができていない。通常はDAOの職員がEPAの普及員を通じて、農民への農業技術のみならず、食品加工やビジネストレーニング等の指導を行う事になっているが、他の業務が優先されて殆ど実施されていない。デッツァは首都に近く、陶芸が有名な観光地である。それらの有利な点を生かし、普及員とともに果樹農家を指導できる人材が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 マラウイ各地には政府やNGOの主導で多くの農民がグループ化されており、管轄地域には2000以上の果樹農家がある。しかし、適切な果樹管理技術は浸透しておらず、技術指導のできる人物が必要とされている。隊員は農業普及員とともに、以下の活動を行う。 1.管轄地域の果樹農家への巡回指導 2.付属果樹園の整備及び管理・運営 3.食品加工等生産物に付加価値をつける技術導入		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:農業事務所の園芸オフィサー 男性 40代後半	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 専門学校卒 農学	学歴理由: 基本的な専門知識は必要である。
	・小型自動二輪以上	経験理由:
		理由: 巡回指導が必要なため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(5~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	水道(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○ESV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 621 - 10- B- 02)

調査者名: 加藤 聡子

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マリ	職種 果樹栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Fruit Growing			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 _____ プロジェクト名 _____

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) セグー州農業支局
(英語) Direction of Agriculture in Segou Region

3) 任地 セグー州セグー県サンザナ市
首都(バマコ)から 北東 方向 275 Km
主要都市(バマコ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
農業省の地方機関である農業支局は管轄地域内での農民支援を実施しており、各県、郡レベルにおいても農業普及員を配置している。セグー州ではJICAの開発調査(2000年~2007年)により砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルが確立された。マリ政府は2008年より日本の見返り資金を活用し農業支局を中心に同モデルの全州展開を実施中である。2008年度はJICA専門家による支援も実施された。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
セグー州農業支局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、JICAの協力により養成されたCAPが住民ニーズに合わせた支援を住民主体で進めている。これまでのJICAの協力、マリ政府自身による普及が2010年をもって終了することから、今後住民による持続的実施ならびに発展が期待されている。これまでの協力コンポーネントである識字教室、井戸、家畜用のフクテン接種場、野菜栽培、苗畑、植林といった生活改善のための基礎整備を持続的な発展につなげるために、現場レベルでのきめ細かな指導・サポートが必要とされており、本要請にいたった。同配属先には、村落開発普及員、野菜栽培隊員の派遣が予定されている。

2) 期待される具体的業務内容
配属先管轄市のひとつであるサンザナ市の村を活動対象地域とし、サンザナ市役所及び市役所付農業省技官と相談の上、コミュニン内にある複数の村を選定し、巡回しながら以下の活動を実施する。
1. 農民の副収入向上のための果樹栽培の導入支援を行う。
2. 接ぎ木の技術指導も求められている。
3. 果樹栽培を実施している女性グループにたいして支援を行う。
4. 気候・風土に適し、持続性が確保される果樹栽培の可能性を検討する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ:同僚:農業普及員(CAP)、市役所付農業省技官 指導対象者:農民	5) 業務使用言語 ● フランス語 () ○ その他 (バンバラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
学歴理由: _____
経歴理由: _____
理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サバンナ北スーダン) 気温(17~43℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 2 月 12 日

調査者名:新留 直子

要請番号(JL 745 - 10- B - 02)

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
キルギス	職種 果樹栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名: コミュニティ活性化プログラム
 プロジェクト名:

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) イシククリ州政府 (受入機関名)(英語) Issyk Kul Oblast State Administration Office
	2) 配属先名 (日本語) イシククリ州ジェティオグズ県庁 (英語) Jety Oguz Administration Office
	3) 任地 イシククリ州サルルー村 首都(ビシケク市)から 東 方向 380 Km 主要都市(カラコル市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キルギスを代表する観光地イシククリ州の南岸に位置し、果樹栽培の盛んな肥沃な地域である。「一村一品」のコンセプトで現在進行中のJICA技術協力プロジェクト「イシククリ州コミュニティ活性化(J-CEP)」のパイロット村に位置づけられ、プロジェクトの支援を得ながらリンゴ等の果物を利用したドライフルーツの加工に取り組んでいる地域組合(「シリン」)もある。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 果樹栽培が盛んな村であるが、化学肥料を使わない栽培方法、病虫害にさらされた時の対処法などの知識・経験が不足している。日本での技術・経験を導入することで、果実の品質改良、更にドライフルーツ製品などの加工製品などの品質改良も目指し、地域発展に貢献することが求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 果実・加工製品の品質改良 2. 果樹の病虫害対策 3. 日本農業についての情報提供 4. JICAプロジェクトと連携をしつつ、イシククリ州での一村一品運動の好事例となる活動を行なう	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 地域組合の女性8名:大卒3名、専門学校卒3名、高卒3名。実務経験2年以上	5) 業務使用言語 ● キルギス語 () ○ ロシア語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 農学	学歴理由:
	・経験 実務経験 3年以上	経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(内陸性気候) 気温(-10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
-----	--

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 30 日

調査者名:井坪 豊明

要請番号(JL 763 - 10 - B - 05)

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 果樹栽培 指導科目	●新規	●2年	1	23 / 1
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)	○交替	○1年	2	23 / 2
		代目	○ヶ月	3	23 / 3

プログラム番号・名 7630000000009 プロジェクト名 農業改革・地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業水資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources
	2) 配属先名 (日本語) 園芸研究所フェルガナ支部 (英語) Ferghana Branch of the Research and Development Institute for Horticulture
	3) 任地 フェルガナ州クバ郡 首都(タシケント)から 南東 方向 300 Km 主要都市(フェルガナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 支部は国立果樹研究所の支部であるが、経営的には独立採算制である。主な収入源は、果樹苗木の販売収入と貸出農地や独自農場からの売上収入であるが、今後は農家への果樹栽培技術指導の有料化も考えられている。職員20名、農場従業員350名、研究所の敷地面積730ha、その内560haが果樹園である。同支部を対象として、2011年3月までJICA草の根技術協力「フェルガナ州果樹栽培技術向上計画」が実施中である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フェルガナ州における果樹栽培は、綿花栽培と並ぶ主要産業のひとつであるが、旧ソ連時代の栽培方法がそのまま引き継がれ、新しい栽培技術の導入や品種改良は非常に立ち遅れている。現在、JICA草の根技術協力により、同研究所内のモデル果樹園を中心にモモやリンゴの新品種導入、剪定・摘果技術指導、木酢液散布による病害虫防除等の指導が行われているが、同技術協力は2011年で終了する。JOCVは同技術協力の日本側支援機関と連携・協力しながら、日本の先進的な果樹栽培技術の導入・定着を促進することが求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 JOCVは草の根技術協力の日本側支援機関である福島県伊達市の各種関係組織と連携・協力しながら、リンゴとモモを中心とした果樹栽培技術の向上をめざす。技術指導の範囲は広範囲にわたるが、以下の様な業務内容が考えられる。 1. 剪定、摘果、摘蕾 2. 木酢液の製造及び木酢液を利用した病害虫防除 3. 土壌改良 4. 収穫処理、流通販売の改善		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 リンゴ、アンズ、モモ、サクランボ、マルメロ等の農場、苗畑は十分にある。一部温室設備もあり。実験室はあるが、機材は老朽化しており現状では使用不可能。草の根技協により木酢液製造装置が設置されている。		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 農学	性別理由:
	・経歴 実務経験	学歴理由: 専門知識が必要のため 経歴理由: 応用力が必要のため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(ステップ) 気温(-20℃~40℃位)	電気(□安定 ●不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ●通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ●不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 1 日

要請番号(JL 021 - 10 - B - 05)

調査者名: 三好 理文

国名	職種/指導科目 (コード 1006)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 きのご栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目 きのご栽培			2	23 / 2
	職種(英) Mushroom Culture			3	23 / 3
ア	指導科目(英) Mushroom Culture				年 月 から

プログラム番号・名: 農業普及・流通改善プログラム
 プロジェクト名:

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農林水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF)
	2) 配属先名 (日本語) タケオ州農業局 (英語) Provincial Department of Agriculture, Takeo Province
	3) 任地 タケオ 首都(プンペン)から 南 方向 78 Km 主要都市(プンペン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タケオ州は、州面積の約7割を農地が占めており、配属先は、農業技術の普及や農民グループの支援等、農業全般を行政管轄としている。本省を通じて多数の援助機関が多様な支援を実施している一方、JICAにおいては、2006年よりフィールド調整員および協力隊員の複数派遣を開始し、現在、村落開発普及員1名と野菜栽培隊員1名が活動している。また、農協支援プロジェクト(予算:約2000万円/年)を実施している。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先職員と隊員が協同で実施している「農民組織・農協強化プロジェクト(～2010年9月)」では、州内のパイロット農協を対象に農業技術、組織運営、会計管理等の研修を行い運営能力の強化を図っている。過去、香米の生産・販売などに取り組んできたが昨今は、農産物の中でも比較的付加価値の高いきご(平茸・フクロダケ)に着目、栽培技術の普及に取り組んでいる。現時点では、同局で活動中の隊員1名(村落開発普及員)が菌の分離培養と種菌の製造を行い、農協に配布、農協が栽培するという形態を取っている。将来的には、配属先の職員のみで菌種製造が出来るよう専門的な技術指導が期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 州農業局の職員を対象に、以下の活動を行なう ・きご菌の分離培養、菌株の保存維持管理、種菌の製造管理技術の指導 ・病原菌防除の指導 ・器具、機材の操作指導 また、州内の対象農協の組合員に以下の活動を行なう。 ・菌つき苗(おが屑培地)の管理、および栽培場所の環境管理の指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オートクレーブ2台、簡易型クリーンベンチ、計量器、種菌製造用ガラス瓶、アルコールランプ、ピーカー、メスピネット、計量器、その他		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 州農業局職員:男性20代～50代 高卒 農協組合員(農民):男性30代～50代	5) 業務使用言語 ● クメール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上 経験理由:実務指導が求められる 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(25～40℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
地域	電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 8 月 5 日

要請番号(JL 139 - 10 - B - 05)

調査者名:高木 哲也

国名	職種/指導科目 (コード 1006)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
サモア	職種 きのこ栽培	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Mushroom Culture 指導科目(英)			3	23 / 3
				年 月 日 から	

プログラム番号・名 1390000000006 プロジェクト名
 産業強化改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture & Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) ヌウ作物研究所 (英語) Nu'u Crop Research Institute
	3) 任地 ウポル島ヌウ 首都(アピア)から 南西 方向 6 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はFAO(国連食料農業機関)の援助により設立された農業改良普及所である。主に、タロイモ、穀物、野菜、果樹等の作物の品種改良と優良品種の増殖、農家への普及を行っている。現在までに野菜、キノコ栽培、組織培養等の協力隊員を多数派遣してきた経緯がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サモアにおける農作物の多様化と将来の農産物の輸出を目指して、2000年にキノコ生産プロジェクトが始った。しかし、サモアには茸に関する高い専門知識と経験を持った人材がいないため、現在までに2代に渡り「キノコ栽培」の協力隊員を派遣してきた。栽培技術については定着しつつあるが、まだ不十分なのが現状である。より一層の栽培技術の定着、普及方法の確立、今後の同分野における支援のあり方、技術の定着を図る必要性があるため、今回の継続した派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 同僚と協力して、 1. 組織培養、種菌の生産、きのこ栽培を行う。 2. 農家、生産者団体に対してのきのこ栽培の普及を図る。必要に応じて講習会等を実施する。 3. サモアにおける市場開拓及び流通過程の確立を図る。 4. 今後の配属先に対する同分野における協力の方向性について調査する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 組織培養に必要なクリーンベンチ、オートクレーブ他実験器具一式、圧力釜、冷蔵庫等。		
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚研究員2名(男性1名、女性1名) その他、農民及び生産者団体	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 専門学校卒 業務関連分野	性別理由: 学歴理由: 指導及び普及するための基礎知識が必要
	・経験 実務経験	経験理由: 実際に栽培法を指導するため
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況 域	気候(熱帯海洋性) 気温(25-32℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 □通話可 ☑不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 21 日

要請番号(JL 227-10-B-11)

調査者名: 川上 哲也

国名	職種/指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 病虫害対策 指導科目 職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
				2	23 / 2
				3	23 / 3

プログラム番号・名 2270000000012 プロジェクト名
 基礎教育を中心とした教育の強化と質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) 国立農学校 (英語) National Institute of Agriculture
	3) 任地 ラリベルタ県サンアンドレス市 首都(サンサルバドル市)から 北西 方向 33 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同学校には3つの基本的な運営方針があり、1. 農牧セクターにおける農業技術者の育成、2. 中小規模農家への研修、3. 農牧セクターにおける調査・研究、である。2010年度予算は470万米ドル/4億3千万円。当校へは1996年から隊員派遣が開始され、これまで多様な分野で20名近くのボランティアが派遣されてきた。また、日本による機材無償、第三国専門家などの支援も実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同農学校は農牧分野における専門技師の育成を基本方針とする農牧省直轄の農業専門学校で、中卒生徒の進学を受け入れる3年制の学校である。1年目は野菜・果樹栽培、2年目は穀物栽培、最終学年は畜産学がカリキュラムとなっている。学生数は全校350名前後である。農業系企業や大学とも連携し、円滑な就職や進学ができるような体制を構築している。病虫害対策は同校でも重要な科目の一つでありながら、指導者が不足している。かかる状況下、他国先端技術によるトレーニング及び研修が求められている。1997年から2009年にかけて、4名の隊員が同分野で活動した実績がある。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 病虫害対策に係るラボでの実習及び学生への研修指導並びに支援 2. 学生への昆虫学指導、昆虫分類法、ウイルス鑑定法

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室及び事務用品、ラボ及びラボ機器、昆虫標本、パソコン、その他業務に必要な資機材
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総括責任者～校長、男性、50歳代 カウンターパート～植物学科主任、女性、農業技師、実務経験8年 学生

5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴 大卒 農学 学歴理由: 学生へ指導するため
	経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (●:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯気候) 気温(20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 10 月 8 日

調査者名: 清水 義朝

要請番号(JL 315 - 10 - B - 03)

国名	職種/指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 病虫害対策	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Disease and Pest Control			3	23 / 3
ア	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 3150000000016 プロジェクト名
 その他(平和構築)

配属概要	1)受入省庁名(日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (受入機関名)(英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindío
	2)配属先名 (日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindío
	3)任地 キンディオ県アルメニア市 首都(ボゴタ市)から 西 方向 316 Km 主要都市(アルメニア市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 首都に本部を置き、各県に32の支局を持つ、農牧水産業に関する病気予防、検疫、食品衛生監理などを実施する国立の機関。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アルメニアの主要農産物はプラタノ(バナナ科)であるが、などと呼ばれるバクテリアや細菌による病気が頻発している。配属先では農民に対し、病気株が発生した場合は周辺株へ感染を防ぐため、病気株への接近を避け、病気株の半径5mの所に溝を掘るよう指導している。しかし、配属先としては、病気発生時の予防策を有しておらず、病気の予防策と病気発生時の適切な対処方法を新たな課題としている。なお、JICAは、コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)と2005年から2009年まで、「食用バナナ病害の総合的管理プロジェクト」を実施し、配属先職員はこのプロジェクトへ参加もしている。		
	2)期待される具体的業務内容 1. コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)に派遣予定のシニア海外ボランティア等と情報交換・収集し、プラタノの病気の特徴を調べ、病気発生予防策を同僚とともに考案する。 2. 病気発生時の対応策について、より効果的な対策を同僚とともに試行する。 3. プラタノ以外にも、バナナ、柑橘類、植林樹などの病気についても上記のような協力を行う。 4. 任地のアルメニア以外の周辺支局においても、上記のような支援活動を行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植物病理関連機材はカルダス県支局に備えられているが、必要に応じて配属先にも顕微鏡、その他の機材を備える用意がある。		
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 30歳代女性の農学士。日系3世だが日本語は話せない。農業一般の知識はあるが、植物病理関連の知識は少ない。	5)業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 修士 業務関連分野	性別理由:
		学歴理由: 同僚以上のレベルが求められた
		経験理由:
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(温帯) 気温(15~30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22年 7月 7日

要請番号(JL 060 - 10 - B - 09)

調査者名: 小澤 重久

国名	職種/指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ネパール	職種 土壤肥料	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 3
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 0600000000010 プロジェクト名
 農業農村開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives
	2) 配属先名 (日本語) ポカラ地域土壌分析室 (英語) Regional Soil Testing Laboratory, Pokhara
	3) 任地 カスキ郡ポカラ 首都(カトマンズ)から 西 方向 200 Km 主要都市(カトマンズ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は農業局土壌管理部の支所のひとつで、日常的に地域の土壌サンプルや肥料の分析を行っている。また、地域に出向き農民を対象とした土壌分析キャンペーンを行い、農地土壌の簡易分析を実施している。キャンペーンでは、農民に対して、土壌分析の情報提供や土壌管理の指導を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先の周辺地域では、商業的農業が盛んに行われており、付加価値の高い野菜や果樹の生産に適している。そのため土壌の肥沃度を保つことは、これらの生産性を保つ重要な要素であり、特に現場レベルでの土壌管理指導が必要である。しかし、同配属先には、必ずしも同分野の経験をもった人員が配置されるわけではなく、土壌学や土壌分析に関する知識が不足している。そのため、土壌分析に関する基礎的な技術指導や提言ができるJOCVの要請に至った。現在活動中のJOCVは分析室での検査のみならず、フィールドでの農民への土壌管理指導にも取り組んでいる(2010年6月時点)。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先が行う以下の活動について支援を行う。 1. 持ち込まれる土壌、植物、肥料サンプルの分析(主要、微量栄養素) 2. 農民を対象としたフィールドでの土壌管理指導	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 土壌分析に必要な基本的な分析機器はそろっている。	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 技官5名、分析技師1名、技術スタッフ8名、及び事務職員4名 いずれも男性	5) 業務使用言語 ● ネパール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 大卒 農学		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概況	気候(亜熱帯気候) 気温(6-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
地域	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 18 日

要請番号(JL 227 - 10 - B - 10)

調査者名: 川上 哲也

国名	職種/指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサル バドル	職種 土壌肥料 指導科目 職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
				2	23 / 2
				3	23 / 3
				年 月 から	

プログラム番号・名 2270000000012 プロジェクト名
 基礎教育を中心とした教育の強化と質の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) 国立農学校 (英語) National Institute of Agriculture
	3) 任地 ラリベルタ県サンアンドレス市 首都(サンサルバドル市)から 北西 方向 33 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同学校には3つの基本的な運営方針があり、1. 農牧セクターにおける農業技術者の育成、2. 中小規模農家への研修、3. 農牧セクターにおける調査・研究、である。2010年度予算は470万米ドル/4億3千万円。当校へは1996年から隊員派遣が開始され、これまで多様な分野で20名近くのボランティアが派遣されてきた。また、日本による機材無償、第三国専門家などの支援も実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校では常日頃から土壌肥料分野の調査・研究を推進させることは、農牧生産上非常に重要なことだと位置付けている。しかしながら、同校には同分野において指導をできるような人材が不足している。そこで、日本からのボランティア派遣による同分野の指導・助言が望まれる。2000年から2004年にかけて、2名の協力隊員が同分野にて活動の実績がある。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 土壌肥料分野における調査・研究企画開発 2. 校内圃場における学生との実践活動 3. 校内土壌肥沃問題特定と改善 4. ラボと実技を活用した土壌に関する講義手法支援 5. 校内での関連作物における施肥プログラム作成及び管理 6. 校内土壌マップ作成		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室及び事務用品、トラクター及び農機具一式、パソコン		
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総括責任者~校長、男性、50歳代 カウンターパート~技術主任、男性、農業技師、実務経験15年 学生	5) 業務使用言語 ◎ スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 農学 学歴理由: 学生へ指導するため		
	経験理由: 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯気候) 気温(20-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 8月 10日

要請番号(JL 636 - 10- B - 16)	調査者名: 吉永 由美
-----------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ルワンダ	職種 土壤肥料 (コード 1102)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英)			2	23 / 3	
		3	/			

プログラム番号・名: 東部県地方開発プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業動物資源省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Animal Resources

2) 配属先名 (日本語) ルワンダ農業開発公社
 (英語) Rwanda Agricultural Development Authority (RADA)

3) 任地 キガリ
 首都(キガリ)から 市内 方向 0 Km
 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当公社は農業動物資源省の傘下において農業全体の開発プログラム・政策と実施に関わる監督実施機関である。同時に各地に農業試験場を構え、6部門(土壌・水管理、種子生産、作物生産、稲作開発、病虫害防除、ポストハーベスト)の専門分野において研究開発がなされている。公社全体の2007年度予算は約2,040,000USD。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 当国は気候が温暖で降雨量も多く野菜や果物、花卉栽培が盛んで輸出も行っている。GDPにおける40%を農林漁業分野が占め、農林漁業の就労人口は労働人口の90%を占めている。同公社は支援、土壌及び水管理、種子生産、稲作開発、作物生産、病虫害予防、収穫後処理管理の7ユニットで構成される。近年、日本からの肥料援助として北部3郡に約1000トンの化成肥料NPK17-17-17が支援されている。国内の農業生産量増加のために、土壌の肥沃度を見極め、適正な施肥量と方法についての知識と経験が豊富な人材が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 開発公社本部(キガリ)の事務所に勤務し、必要に応じて郡レベルの出先事務所で活動する。
 2. 配属先の技術者と活動を共にし、郡・地域の農業技官や農業組合員等に技術指導をする。
 3. 対象作物は、米、メイズ、キャッサバ、馬鈴薯、小麦、大豆など
 4. 当国は国土に限られており、長期にわたる耕作により土壌劣化が問題視されているため、化学肥料や堆肥を組み合わせ持続的な営農計画を立てる。
 5. 流通している化成肥料はNPK17-17-17、URIN(N2)、DAP(主要成分はPおよびN)の三種

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 事務所(机・椅子)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 農業技術者(40歳前後、男性、大卒)

5) 業務使用言語
 ● フランス語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 大卒 農学 同僚と同等以上
 経験理由: 実務経験 2年以上 実践力を要する
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(熱帯性気候) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21年 6月 25日

要請番号(JL 506 - 10 - B - 07)

調査者名: 岩田 章一

国名	職種 / 指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 農業土木	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			3	23 / 3
ア	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 5060000000007 プロジェクト名 農業生産性向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) ウォレタ農業職業訓練カレッジ (英語) Adet Agriculture Research Center
	3) 任地 アデット 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 650 Km 主要都市(ハンデルゲル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの大稲作地帯に位置する農業職業訓練校。2009年9月から短大に昇格し、4つの学部から構成され農業普及員を育成する機関。配属先は約30人の農業研究員、インストラクターが滞在。JICAの帰国研修員(稲作研修)も副校長として在籍。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー・専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約45%を占める農業国である一方、当国には毎年食料支援を必要としている地域も存在する。JICAは、農業分野への支援を重点課題と位置づけ、研究、調査、普及に関する支援を実施している。エチオピアでは、新たな作物として稲作拡大を計画。同地域には約30年前に紹介された稲作が根付いているが、効果的な収量拡大や新たな付加価値を見出すためのアイデアが欠如し、さらに農業分野の専門的人材も不足しているなど課題は多い。農業分野の技術者育成、近隣農民への指導、稲作普及のため、ボランティア要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先同僚と以下を主に行う。 1. 校内にある圃場で栽培している作物の調査・研究を行い、農業土木指導に必要な資料を作成する。 2. 有効な水の利用法(校内に研究用のため池設置)の調査・指導を行う。 その他配属先と協議し、必要な活動を実施したり、同配属先派遣予定の稲作隊員、近隣の農業試験場派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器。	

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業研究員・インストラクター・農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
		学歴理由:
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(温帯気候) 気温(10~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電 話	電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21年 6月 25日

要請番号(JL 506 - 10- B - 08)

調査者名: 岩田 章一

国名	職種/指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エチオピア	職種 農業土木	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	23 / 3
プログラム番号・名 5060000000007		プロジェクト名 農業生産性向上			

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) アムハラ州農業農村開発局 (受入機関名)(英語) Bureau of Agriculture and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) アデット農業試験場 (英語) Adet Agriculture Research Center
	3) 任地 アデット 首都(アジスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(ハイルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) エチオピアの稲作地帯であるアムハラ州にある農業試験場。1986年に設立。アムハラ州にある4ゾーン(東西ゴジャン、アウイ、南ゴンダール)を管轄し、3つの研究を主に実施(土壌・灌漑関係、穀物・作物関係、混農林業・アグロフォレストリ)している。日本の農業分野支援として、連邦農業省派遣の農業アドバイザー専門家、JIRCASの研究、NGOとの連携した活動も予定している。JICA帰国研修員配属。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エチオピアは、人口全体の80%が農村人口、農業就労人口は全就労人口の約80%、産業においても農業生産が約45%を占める農業国である。一方、毎年食料支援が必要な地域もある。JICAは、農業分野への支援を最重点分野と位置づけ、研究、調査、普及に関する支援を実施している。高原国のエチオピアでは、雨量や水域、高度などにより多様な農業が営まれている。しかしながら、水量が低く水源の乏しい地域では農業面での開発が進んでいない。農業における水の有効利用についての研究・調査を行うため、JICAボランティアの要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先同僚と以下を主に行う。 1. 高地や水源地帯などの水源・流域管理の調査・研究 2. 水の有効利用に関する実用的なアドバイス 3. その他配属先と協議し、必要な活動を実施する。 また、同配属先派遣予定の稲作隊員、近隣の農業職業訓練校派遣予定の関連職種隊員と連携した活動も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校にある事務機器のほかは、特になし。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 稲作農業研究員(男性・女性)2~3名 その他農業研究員、インストラクター、農業普及員(20~40歳)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (アムハラ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由:	
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 経験豊富な研究員や農家に指導するため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			*

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(温帯気候) 気温(10~30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 7 月 1 日

要請番号(JL 524-10-B-18)

調査者名: 関 香織

国名	職種/指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 農業土木	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 5240000000003 プロジェクト名
 灌漑農業振興プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2) 配属先名 (日本語) 天然資源専門学校 (英語) Natural Resources Colleges
	3) 任地 リロングウェ 首都(リロングウェ)から 西 方向 15 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1985年にカナダ政府の協力により開校した農業技術者養成専門学校であり、中高等学校卒業後進学する学生と、政府職員(農業普及員)の再訓練コースの2種類の学生を対象としている。毎年800名の卒業生を輩出しそのうち60%が農業普及員である。同校は農業・灌漑・畜産・栄養・環境・食物の6学科(2年半コース)と土地管理(1年半)学科がある。現在、農業学科と灌漑学科で2名の協力隊員(20-1)が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) マラウイは人口の85%が農業に従事しているが、殆どが天水依存の農業であり、灌漑技術者の養成とその普及はマラウイ国の重要な農業開発課題である。NRCの卒業生は地域農業のリーダーとなることが期待されているが、現地教官の指導者が不十分なためボランティアの要請に至った。授業シラバスでは理論60%、実技40%と謳っているが、現地教官は理論を優先しており、実用的な実技・実習の実施はまれである。現在隊員は測量の授業を担当しながら、実用的な知識普及のため灌漑水利、灌漑水路設計などの実習部門にも力を入れている。また、同僚に関連機械の使用方法や、効果的な授業方法・学校運営についての助言も行っている。		
	2) 期待される具体的業務内容 隊員は一教師として以下の活動をすると共に、上に述べた技術支援を現地教官に対して行う。 1. 灌漑学位コースでの講義(講義科目については着任後相談) 2. 灌漑学位コースでの実習指導 3. その他効果的な学校運営の助言・提言		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC、測量機器(レベル、平板、セオドライト、コンパスなど)、土壌浸透測定器		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・教諭免許 農業	学歴理由: 専門学校で教える為ため
	・学歴 大卒	経歴理由: 即戦力が期待されているため
	・経歴 実務経験 3年以上	理由: 専門性が必要とされるため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバンナ) 気温(10~33℃位)	電気(□安定 ●不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ●通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ●不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 8月 6日

要請番号(JL 630 - 10 - B - 04)		調査者名: 米村龍子			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
モザン ビーク	職種 農業土木 (コード 1201) 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			1 23 / 1	年 月 から
				2 23 / 3	
				3 /	
プログラム番号・名		プロジェクト名			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) ナンプラ州農業局 (英語) Nampula Provincial Directorate of Agriculture
	3) 任地 ナンプラ州ナンプラ市 首都(マプト)から 北東 方向 2060 Km 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナンプラ州19郡に設置されている農業事務所を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長のもとに、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億65百万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ナンプラ州農業局には水理技師がいないため、必要な灌漑スキームの調査や設計をすることができず、灌漑農業を広めることが困難になっている。元青年海外協力隊員(15/1、農業土木)で現在は他州農業局の灌漑プロジェクトに勤務する日本人技師の活動が評判となり、今回要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。 1. 既存灌漑設備・施設の調査 2. 新規灌漑設備の設計・工事 3. 灌漑設備の保守管理		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 局の持つ運転手付4WDを利用できる		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑課主任、45歳、男性、専門学校卒、中級技師	5) 業務使用言語 ◎ ポルトガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 専門学校卒 土木工学	性別理由:
	・経験 実務経験 5年以上	学歴理由: 同僚と同等以上
		経験理由: 実際に調査・設計を行うため
	理由:	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯サバンナ) 気温(15-40℃位)	電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 2月 12日

調査者名:柴崎栄司

要請番号(JL 048-10-B-13)

国名	職種/指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブータン	職種 農業機械	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英)			3	/	

プログラム番号・名 048000000002 プロジェクト名
 農業機械化促進プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests
	2)配属先名 (日本語) バジョー農業機械化センター (英語) Agriculture Machinery Center, Bajo
	3)任地 バジョー 首都(テンブー)から 南東 方向 70 Km 主要都市(ウォンディ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発・普及のため、農業機械化の促進を目指して農業機械化センター(AMC)が1983年に設立され、同配属先はその地方組織である。農機具の販売や修理、トレーニングのフォローアップなどを実施している。AMCでJICAの技術協力プロジェクトが08年6月より開始し、同配属先も協力機関となっている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先は、農民に対して、耕運機をはじめとする農業機械のメンテナンスや販売サービスを実施している。第10次5か年計画では、換金作物の増産が大きな目標となっており、機械の導入はその一つの手段として期待されている。農民のニーズに即した農業機械の輸入やサービス提供のために、中央と地方との連携の強化が求められ、JICAの技術協力プロジェクトも開始している。農民の視点に立った修理サービス向上という技術的な協力を行うと同時に、農業機械化促進のためのデータ収集という役割を側面支援するために、要請に至った。		
	2)期待される具体的業務内容 ・農機具、特に耕運機やトラクターなどの修理サービスを同僚と共に提供する。この作業を通じ、スタッフの修理技術の向上を図る。 ・修理やトラブルなどを記録し、破損・故障の原因を分析する。この結果は、農業機械化訓練センター(AMTC)へ報告され、農民への保守や運転に関するトレーニング内容の改善のための資料となる。 ・バジョー自然資源研究センターが配属先に隣接している。協力しながら、効率のよい農業機械の使い方、普及なども期待される。 ・12~2月に実施される、移動メンテナンスキャラバンに参加し、協力する。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 修理対象農業機械: 耕運機Kubota K120 その他、日本製田植え機、インド製トラクターや精米機など 配属先には、修理に関連する基本的な工具や、工作機械が揃っている。		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル エンジニア男性5名(30~40歳代:経験5~15年程度)	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 農業機械の基礎的な知識が必須 経験理由: 様々な農業機械修理を行うため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(10 ~ 35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 8月 9日

要請番号(JL 609 - 10- B - 06)

調査者名: 小竹 一嘉

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ガボン	職種 農業機械 (コード 1202)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural Machinery			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				
プログラム番号・名 6098888888888		プロジェクト名				
その他						

1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Farming, Fisheries, and Rural Development

2) 配属先名 (日本語) 農村開発庁(リーブルビル事務所)
 (英語) National Office of Rural Development (ONADER)

3) 任地 エスチュエール州リーブルビル市
 首都(リーブルビル)から 北 方向 0 Km
 主要都市(リーブルビル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農村開発庁は国内における農業・家畜飼育従事者の育成、組合活動支援、農業及び家畜飼育技術の普及・指導及び農地提供を行っており、年間予算は44億フランセーファー(約8.8億円)。現在6州15か所において食用作物及び野菜栽培普及のパイロット事業(新規作物の試験栽培、農地提供、農機具の貸与等)を展開している。日本以外に外国の援助はなし。2010年1月から協力隊員の派遣が開始されたところである。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同国の食料自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つであるが、農業従事者の割合が低く、予算措置も少ないことからあまり進んでいない状況である。同国の農業従事者はプランテーション・バナナやマニョック(キャッサバ)の栽培が主流。2008年、同国においても日本の協力によってサブサハラアフリカ諸国で成功例が報告されているネリカ米の試験栽培が同配属先によって開始され、順調な生育が確認されているものの、農民に米栽培の経験がないことなどから、国内におけるネリカ米の普及と定着を図ることを目的として、協力隊員の要請が出されるに至った。

2) 期待される具体的業務内容
 主な活動としては、以下のとおり。
 ・配属先同僚とともにパイロット事業で稼働中の農業機械についての現状調査
 ・配属先同僚および農業従事者に対し、同農業機械についての修理及びメンテナンス指導(補助)。
 ・配属先同僚とともに当国における農業機械に関する市場調査の実施。
 ・市場調査の実施後、専門知見から導入が望まれる農業機械について、配属先に対する提言の実施。
 ・その他、農業及び家畜飼育従事者の現金収入向上に繋がるアイデアを提案し、生活向上の側面支援を図ることも期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 トラクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 総裁(50代男性)、技術局長(40代男性)、他スタッフ約20名

5) 業務使用言語
 ● フランス語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: _____
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 農業機械に関する知見・経験が必要
 理由: _____
 理由: _____

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯雨林) 気温(22~32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 8 月 12 日

調査者名: 田中 智穂

要請番号(JL 012 - 10- B - 11)

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリ ピン	職種 家畜飼育	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 0120000000039 プロジェクト名
生計向上プログラム(生計手段の強化・多様化)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁 ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2)配属先名 (日本語) 農業省畜産局国家家畜人工授精センター (英語) National Artificial Insemination breeding center (NABC)
	3)任地 マニラ首都圏ケソン市 首都(マニラ首都圏)から 北東 方向 20 Km 主要都市(マカティ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターは牛の人工授精技術普及のため、国内全地域の獣医事務所等を管轄し人工授精技術者育成、モニタリング、講習会、人工授精用液体窒素の生産と全国への供給を実施している。フィリピンでは協力隊チーム派遣「家畜人工授精計画」(1998年終了)を当センターを含め複数のサイトで実施、人工授精技術の普及を推進している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターではフィリピン全土の獣医事務所等で業務を行う人工授精師の技術向上のためのトレーニング及び人工授精データ管理を行っている。前2代の家畜飼育隊員は、フィリピン政府の事業である「国家人工授精計画」に協力し、全土から人工授精データを収集し、データ分析及びデータの各地へのフィードバックについて支援を行ってきた。データ数を増やし、データの精度を向上させ、より適切なフィードバックを行うことを通じて、各地の人工授精師の人工授精技術のさらなる向上及び牛の個体識別管理、優良系統の育成を図るために継続した隊員支援が必要とされる。	
	2)期待される具体的業務内容 NABCの職員と協力し以下の活動を行う(コンピュータ開発などの知識・経験は不要) 1.開発されたデータ収集システムのフィリピン各地での使用率を上げるために各地を訪問し人工授精師に対しワークショップを実施する。 2.各地から集まるデータの分析、及びフィードバックを支援する。各地獣医事務所等を訪問し、分析結果をもとに人工授精師に適切な人工授精技術を指導する。 データ:月齢及び出世時体重、生体重、屠体体重 データ収集システム:Excel(ピボットテーブル)及びAccess	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ(英語版Windows OS)、データ収集システム(Excel)、インターネット環境、ファックス	

要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産局スタッフ 女性 50代 国家人工授精計画担当職員 男性 30代 その他各地獣医事務所等人工授精師 約300名	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (タガログ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	---	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 畜産学	性別理由: 学歴理由:人工授精、育種関連の知識が必要のため 経験理由:
	・家畜人工授精師	理由:牛の人工授精技術が必要のため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯性) 気温(20-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
--------	---

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 2 日

要請番号(JL 318 - 10 - B - 01)

調査者名: 櫻井 国弘 調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エクアドル	職種 家畜飼育	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 3188888888888 プロジェクト名
 その他

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) モロナ・サンティアゴ県庁 (受入機関名)(英語) Prefectural Government of Morona Santiago
	2) 配属先名 (日本語) モロナ・サンティアゴ県庁 (英語) Prefectural Government of Morona Santiago
	3) 任地 モロナ・サンティアゴ県マカス市 首都(キト市)から 南 方向 450 Km 主要都市(マカス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.25 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 人口約15万人を擁するエクアドル南部アマゾン地域に位置するモロナ・サンチャゴ県の行政機構。交通網整備、観光開発、農牧業振興が現在の経済開発上の優先課題であり、経済・人材・生産開発局が主務。年間予算は、県庁全体で25億円相当。ボランティアを受け入れる経済・人材・生産開発局は、1.2億円相当。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県では牛の畜産・酪農の従事者が多く、農牧業の主軸となっており、畜産・酪農振興が同県の経済発展には欠かせない要素となっている。県庁では畜産・酪農農家の所得向上を目的に、牛肉・牛乳の生産力向上を図る支援を行っている。しかし、牛乳の生産性(質と量)向上を図れる技術者が不足していることからボランティアの要請となった。同配属先に派遣された18年度1次隊及び21年度1次隊の両隊員は、乳牛の飼料の改善や繁殖に関する支援活動を行った。	
	2) 期待される具体的業務内容 牛乳の生産力(量と質)向上に関する全般的な活動を行う。特に、飼料に関する調査、課題把握、改善案提示、指導が期待されている。 1. 村落部の酪農農家を巡回し、農家に対し個別指導を行う。 2. 県・市の農業技術普及員を対象とした講習会開催を行う。 3. その他、必要に応じて、繁殖、衛生・栄養管理、疾病予防など飼育管理全般に関するアドバイスを関係者に行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 人口受精器、土壌分析器	

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 開発課課長:30歳代女性 獣医師:30歳代男性 畜産従事者:	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由: 畜産農家、関係者への指導があるため		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(15-30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 2 日

要請番号(JL 318 - 10 - B - 03)

調査者名: 櫻井 国弘 調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エクアドル	職種 家畜飼育 指導科目 職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)	○新規 ●交替 3 代目	●2年	1	23 / 1
			○1年	2	23 / 2
			○ヶ月	3	23 / 3
年 月 日 から					

プログラム番号・名 3188888888888 プロジェクト名
 その他

1) 受入省庁名(日本語) エル・エンパルメ市役所
 (受入機関名)(英語) Council of El Empalme

2) 配属先名 (日本語) エル・エンパルメ市役所
 (英語) Council of El Empalme

3) 任地 グアヤス県エルエンパルメ市
 首都(キト市)から 南西 方向 300 Km
 主要都市(グアヤキル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 人口約13万人を擁するエクアドル・コスタ地域に属し、農牧業が中心のエル・エンパルメ市の行政機構。経済開発上の優先課題として、農業振興を掲げている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 農牧業が同市の主産業であり、同市人口13万人の90%までが農牧業に従事する。農牧畜産業振興が同市発展の基礎と考える市としては、海外ボランティアの導入で技術向上を図りたい意向である。前任者は、市が指定したコミュニティーへの巡回指導、農牧業関係者への講習会開催、農業学校での指導などを通じ、主に牛を対象とした飼育管理方法、繁殖、飼料等に関する改善提案を行った。

2) 期待される具体的業務内容
 市役所の家畜飼育アドバイザーとして、主に牛を対象とした飼育管理方法、疾病対策、繁殖、飼料、その他家畜飼育全般に関する改善提案を行う目的で以下の活動に取り組む。
 1. 市が指定する20箇所のコミュニティーへの巡回指導
 2. 対象農家への個別指導
 3. 農家、市役所農牧業関係者を対象とした講習会の開催
 4. 市内にある農業学校での実地指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 巡回用車両(運転手つき)、事務用品一式、家畜飼育指導用機材一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属先長:40歳代 男性 カウンターパート:40歳代 男性 職種経験20年 専門学校卒 指導対象者:農家、学生、農牧関係者	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	--

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
・学歴 大卒 畜産学	学歴理由: 畜産農家、関係者への指導があるため
・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 実務的な分析と実技が必要なため
	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 6月 9日

要請番号(JL 324 - 10- B - 08)

調査者名: 森田 音佳

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 家畜飼育 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 23 / 1	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2 23 / 2	
		3 23 / 3			

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名 南東部小農協強化プロジェクトフェーズII
 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) 国立イタプア大学
 (受入機関名)(英語) Itapua National University

2) 配属先名 (日本語) 国立イタプア大学ナタリオ校農牧林学部
 (英語) Itapua National University, Natalio Branch

3) 任地 イタプア県ナタリオ市
 首都(アスンシオン)から 南東 方向 500 Km
 主要都市(エカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 イタプア大学ナタリオ校は経営学部、法学部、農牧林学部をもつ大学で、農畜産林学部は2004年に開設され、現在143名の学生を有する。地域の農牧林業の発展、および農牧林業にちなんだ産業振興を目的とした教育を行っている。農牧学士号取得には5年を要し、同学部の年間予算は約14万米ドル。外国の援助等は特になし。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同大学農牧林学部は、JICAボランティアチーム派遣が行われている「南東部小農協強化プロジェクトフェーズII」の対象農協であるヘシャブラ農協、およびナタリオ市役所と連携し、牛の人工授精プロジェクトを開始している。しかしながら、同地域の人工授精技術の普及は開始されたばかりであり、技術指導できるレベルの技術者がおらず、現場で学生や農家に密着し指導できる人材が必要とされている。派遣される家畜飼育隊員はボランティアチーム派遣の一員として、プロジェクトの目標である農産物多様化と生産性向上、および営農計画普及を目指した畜産分野での活動を行うことが期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
 南東部小農協強化プロジェクトフェーズIIの対象小農協に配属の隊員たちと連携しながら、プロジェクト目標である農産物多様化と生産性向上を目指した活動を行う。主な活動は、農牧林学部の学生および地域の小農を対象とした下記の畜産分野での支援活動である。
 1. 牛の人工授精技術の普及(人工授精師としてのサービス業務、人工授精師の育成)を行う。
 2. 牛を中心とした家畜(その他の豚、鶏)の飼養管理法・衛生管理法における助言を行う。
 3. ヘシャブラ農協の村落開発普及員と連携し、プロジェクト目標である営農計画の普及を推進するための支援を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱い機材の機種名・型式、設備等
 人工授精に関する器具一式。(窒素タンク大・小、インジェクター等)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 C/P 同学部の教員 男性50歳代
 その他教員 男性40歳代
 対象となる学生 10~20歳代 男女 約30名
 小農 10~40歳代 男女 約30家族

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ()
 ○ その他
 (グアラニー語)

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 ・経験 実務経験 2年以上 経験理由: 幅広い年齢層を指導するため必要
 ・家畜人工授精師 理由: 人工授精技術の指導にあたるため必須
 ・小型自動二輪以上 理由: 農家巡回必須であるため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車 農家巡回必須であるため		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気安定 不安定 なし
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道安定 不安定 なし



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 524-10-B-01)

調査者名: 木下秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名 農民人工授精師養成計画
 農村生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2)配属先名 (日本語) サリマ県農業開発事務所 (英語) Salima District Agriculture Development Office
	3)任地 サリマ 首都(リロングウェ)から 東 方向 100 Km 主要都市(サリマ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サリマ県内の農家に農業作物、畜産、灌漑などの指導を行っている。畜産課の予算は年間1,500,000円。JICAボランティアとしては家畜飼育隊員のほかに村落開発普及員がいる。複数のNGOが様々な形でサリマ県農業開発事務所を支援しているが、畜産分野においては直接の外国の援助は無い。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業食糧安全保障省は牛の乳量や体重の増加による農民の収入向上をめざしている。人工授精はこのための有効な手段であり、農業食糧安全保障省とJICAは2006年～2010年11月の5年間に渡り「農民人工授精師養成計画」(以下プロジェクト)を実施した。隊員はこのプロジェクトのフォローアップとして、管轄内の継続した人工授精の普及に携わる活動を求められている。前任者は主に、人工授精師への技術的な助言、人工授精研修の支援、人工授精事業の体制作り、農家における飼養管理の指導などの活動をしている。		
	2)期待される具体的業務内容 1.管轄内で活動中の農民人工授精師を同僚と協力し技術的な支援をする。 2.管轄内の人工授精実施体制の強化に協力する。 3.近隣農家に牛の飼養管理技術を指導する。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素タンク、人工授精器(シース管使用タイプ)		

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課長1人、職員3人すべて男性、30代～50代。職員1人は日本で1ヶ月の研修経験がある。主な指導対象者は数名で研修終了後2～3年の経験がある。	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 畜産学	学歴理由:カウンターパートが大卒であるため
	・家畜人工授精師	理由:人工授精に関する技術指導をするため
	・小型自動二輪以上	理由:農家への巡回指導をするため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車 農家巡回指導の必要があるため		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(サバンナ) 気温(10~35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☑不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 21 年 3 月 31 日

要請番号(JL 524 - 10 - B - 19)

調査者名: 木下 秀俊

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名: 食糧安全保障プログラム
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security

2) 配属先名 (日本語) チョロ県農業開発事務所
 (英語) Thyolo District Agriculture Development Office

3) 任地 チョロ県
 首都(リロングウェ)から 南 方向 350 Km
 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け農業開発局を設置している。チョコロ県農業開発事務所は管内の普及所職員を通じて、県内の作物、畜産、灌漑、食品加工など農業分野全体の業務を行っている。年間予算は1300万円。配属先への直接的な外国の援助は無いが、国際機関やNGOなどが様々な形で県内の農家を支援しており配属先も関係している。また果樹のJICAボランティア要請が出ている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 国民1人あたりの牛乳消費量は年間5リットルで近隣諸国の3分の1程度であり、牛乳消費量の半分を輸入に頼っているため、酪農の振興が大きな課題となっている。チョコロ県は牛乳生産の盛んな県ではあるが、小規模農家における乳牛の飼養管理技術は一般的に未熟である。直接の前任者ではないが、管内の酪農組合にいた家畜飼育ボランティアは、農家を集めての飼養管理講習会の開催、チーズやヨーグルト製造への協力、農民人工授精師への支援、人工授精研修への協力などの活動を行った。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 農家を巡回し乳牛の飼養管理(給餌、牧草、乾草、サイレージ、牛舎衛生、記録など)について助言する
 2. 乳牛の飼養管理全般(給餌、牧草、乾草、サイレージ、牛舎衛生、記録など)についての講習会を開催する
 3. 牛の人工授精業務を支援する
 4. 人工授精研修と妊娠診断研修の講義、実習において、マラウイ人講師を補佐する
 5. 「農民人工授精師養成計画」プロジェクトのボランティアに準じて、関連隊員などと協力して活動する

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県農業開発事務所長 男性 50歳代 畜産課職員は普及所を含めて男性6名 30歳代-50歳代。同僚は畜産の一般的な知識と指導経験がある。指導対象となる小規模農家の多くの技術レベルは初歩的である。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (チェワ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル:) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	---

資格条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由:
 経験理由:
 ・家畜人工授精師 理由: 人工授精研修において指導者となるため
 ・小型自動二輪以上 理由: 農家への巡回指導が必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車 農家への巡回指導が必要なため		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(サバンナ) 気温(10~30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 21 年 6 月 21 日

調査者名: 木下 秀俊

要請番号(JL 524-10-B-20)

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マラウイ	職種 家畜飼育	○新規 ●交替 5 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 5240000000005 プロジェクト名 農村生計向上プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧安全保障省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Food Security
	2)配属先名 (日本語) ムズズ農業開発局 (英語) Mzuzu Agricultural Development Division
	3)任地 ムジンバ県ムズズ市 首都(リロングウェ)から 北 方向 370 Km 主要都市(ムズズ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。ムズズ農業開発局は管轄内の下部組織である県農業開発事務所(DADO)や普及所(EPA)を指揮しながら農業分野全般の事業を行っている。外国の援助やマラウイ国内のNGOが様々な形で関わっているが、配属部署である畜産課への直接的な援助はない。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 牛乳消費量の半分を輸入に頼っているマラウイでは酪農の振興が大きな課題となっており、牛の生産性の向上のために人工授精の普及が期待されている。ムズズ農業開発局管内には30人以上の人工授精師がいるが、凍結精液や液体窒素の配布体制の不備、機材不足などの理由で人工授精を十分に行っていない授精師が多い。2006年にマラウイ政府とJICAはボランティアによる農民人工授精師養成計画の実施に合意し、5年間に全国で86人の農民人工授精師を養成し、人工授精事業の実施体制の強化と現場における人工授精師の支援を計画しており、要請はこの計画に関連して出されている。		
	2)期待される具体的業務内容 「農民人工授精師養成計画」に準じて、フィールド調整員、関連隊員などと協力して主に次の業務を行う 1. 人工授精師に技術的な支援をする 2. 人工授精事業の管理運営を支援する 3. 人工授精研修と妊娠鑑定研修の講義・実習において、マラウイ人講師を補佐する 4. プロジェクトに関連する報告書を提出する 5. 農家を訪問し、人工授精の普及、定着にむけた活動と飼養管理の助言をする		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 凍結精液保管用液体窒素保管器、ストロー精液注入器など		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産課職員は男性5名。主な同僚は人工授精調整員で40才代。指導対象として予想される農民人工授精師の技術レベルは様々である。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (トゥンバカ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		

経験理由:	理由:人工授精研修において指導者となるため
・家畜人工授精師	理由:農家への巡回指導が必要なため
・小型自動二輪以上	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車 農村への巡回指導の移動手段として必要		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(サバンナ) 気温(5~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 024 - 10 - B - 11)

調査者名: 小熊 誠

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ラオス	職種 獣医・衛生	○新規 ●交替 6代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1	年 月 から
	指導科目			2	23 / 2	
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			3	23 / 3	

プログラム番号・名 0240000000016 プロジェクト名 食料安全保障

1) 受入省庁名(日本語) 農林省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry

2) 配属先名 (日本語) サバナケット県農林局
(英語) Savannakhet Provincial Agriculture and Forestry

3) 任地 サバナケット県カイソン郡
首都(ビエンチャン)から 南東 方向 470 Km
主要都市(サハナケット県カイソン郡)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
県農林局は、畜産水産科、農業課、灌漑課、普及課、森林課、計画協力課、総務課など10課を備えており、総勢300名のスタッフが在籍している。うち畜産水産科は13のセンターを管轄し、24名のスタッフが勤務している。2009年から2011年2月まで、JICA 広域技プロの「家畜疾病防除計画地域協カプロジェクト」が農林局畜産水産科にて指導をしている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
ラオスは、タイ、カンボジア、ベトナムと国境を接し、国境を越えた家畜の流通が盛んになっているものの、家畜疾病に対する技術体制ができていないため、ひとたび病気が発生すると、家畜産業にとって大きな打撃となる。現在、JICAの広域技プロで畜産水産課のラボが整備されているが、プロジェクトが2011年2月に終了するに伴い、引き続き、診断技術・能力を高めたいとの配属先の意向により、協力隊の要請が挙げられた。

2) 期待される具体的業務内容
1 サバナケットは、ベトナム・タイと接しており、家畜検疫技術の改善に向け、検疫技術が向上するよう同僚スタッフに助言する。
2 県内のセンターから畜産水産課に持ち込まれた検体を正しい技術で検査をし、その後、正しい診断が行われるようスタッフに助言する。
3 家畜疾病診断に必要なサンプルの作成をする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
バイオハザード対策キャビネット(ESCO CLASS II)、電子顕微鏡(Nikon)、縦圧力蒸気滅菌装置 (Vertical Pressure Steam Sterilizer)、恒温水槽、計量計、浄水器

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
男性 大卒 29歳
男性 大卒 20歳代
女性 短大卒 20歳代
女性 短大卒 20歳代

5) 業務使用言語
● ラオス語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 同僚は基礎知識を有しているため
・獣医師 理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯) 気温(15-40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 130-10-B-01)

調査者名: 井上 雅史

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 獣医・衛生	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			3	23 / 3

プログラム番号・名 1300000000007 プロジェクト名
 職業訓練・生計向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業食糧林業水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Food, Forestry and Fisheries
	2)配属先名 (日本語) 畜産局畜産センター (英語) Livestock Division, Tokomororo Livestock center
	3)任地 トコモロロ 首都(ヌクアロファ)から 南西 方向 8 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(バスで約 0.3 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省の一部局で、主な業務は、農業政策策定のための調査研究、生産性向上のための農家指導、海外からの食糧輸入量削減のための家畜飼育の推進、すべての動物に関する獣医学上の対策などを行っている。他にイタリア政府の支援による羊の飼育、中国政府の支援による養豚のプロジェクトが行われている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガでは食糧増産の観点から、畜産に力を入れているが、獣医師がいないところから、獣医学全般に関する業務が山積されている。また、犬、猫などの避妊手術や病気の相談などの要望も増加している。このため、早急に獣医師が必要であるところから、ボランティア派遣の要請となった。ボランティアは、配属先での活動のほか、週に2、3日は島内の農業研究センターや普及センターを巡回して、相談や治療に当たることになる。獣医師の育成には時間がかかり、当面獣医師不在の状況が続くため、ボランティアの果たす役割は大きい。		
	2)期待される具体的業務内容 ・ペット(犬猫)、家畜(豚・鶏・牛・羊)の病気の診断と治療、外科的処置(含む去勢手術) ・動物の病気、衛生対策全般に関するアドバイス ・動物の感染症(含鳥インフルエンザ)予防対策へのアドバイス ・農家および普及センター職員を対象とした講習会の運営		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 診察治療用器具(手術用器具含む)、オートクレーブ、他一般的なオフィス機器(PC、プリンター、コピー機など)		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜産担当オフィサー:男性、50歳代 技師8名、コンピュータ担当1名		5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (トンガ語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
			性別理由:	
			学歴理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

要請番号(JL 551 - 10 - B - 28)

調査者名: 名村 欣哉

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ザンビア	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 5510000000009 プロジェクト名
 農業生産拡大支援プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperative
	2)配属先名 (日本語) 天然資源開発短大 (英語) Natural Resources Development College
	3)任地 ルサカ州 ルサカ 首都(ルカサ)から 東 方向 12 Km 主要都市(ルサカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1964年設立の政府系の農業短期大学。3年制で、農業経営、畜産学、作物学、農業教育、農業工学、漁業、食品栄養学、水工学の8つの学科が運営されている。講師数約50名、総スタッフ数約150名。生徒数約450名。生徒の実習および自立運営のために約500haの土地を所有し、作物の栽培、家畜の飼育などが行われ、得られた利益は学校の運営資金に当てられている。US\$1,053,070(2010年度)

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 活動先となる畜産学科には、畜産の経験を持つ講師は多いものの、獣医として働けるものはほとんどいない。特に獣医診療所(Veterinary clinic)は施設があるものの、ほとんど機能していない状態である。そこで家畜飼育または、家畜衛生の講義を受け持ちつつ、同診療所を機能させることができる人材が求められている。さらに教育のための適切な家畜管理を維持すべく衛生管理等のアドバイスを行う。前任者は獣医・衛生隊員として、理論を中心とした講義を受け持っている。		
	2)期待される具体的業務内容 ①家畜飼育または家畜衛生に関する講義・実習を行う。 ②獣医診療所(Veterinary clinic)の運営を行う。 ③附属農場における衛生管理等のアドバイスを行う。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 薬品、手術器具(メス、針等)、養鶏(ブロイラー約1000羽、レイヤー約700羽)、養豚(約80匹)、乳牛(約40頭)、肉牛(約50頭)他、ウサギ、七面鳥、ヤギ等		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚:学校長をはじめとした講師。30代から40代。経験豊富。指導対象者:高校を卒業した生徒。18歳から25歳程度。初心者から経験者まで。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 大学教員として指導するため最低限必要	
	経験理由:	
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(5-35℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 5 日

要請番号(JL 636 - 10- B - 03)

調査者名: 吉永 由美

国名	職種/指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ルワンダ	職種 獣医・衛生	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 3
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英)			3	/

プログラム番号・名 636000000001 プロジェクト名 人材育成

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 農業動物資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Animal Resources
	2)配属先名 (日本語) ルワンダ動物資源開発公社 動物生産ユニット (英語) Animal Production Unit, Rwanda Animal Resources Development Authority
	3)任地 キガリ市 首都(キガリ)から 北 方向 0 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同公社はルワンダにおける動物資源の開発政策の策定・執行を担当する国の機関である。その中にある動物生産ユニット(APU)は、乳牛から魚まであらゆる動物資源に関して、生産者・技術者に対するサポート、品種改良、生産物の流通など多岐にわたる業務を担当をしている。2009年度予算は2,530,200ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国では94年のジェノサイド以前から輸入精液による人工授精と、外来種の未経産牛の導入で乳牛の遺伝改良を推し進め、2008年からは国内で精液ストローの生産を開始(1代目隊員が関与)した。さらなる遺伝改良の高速化と、純血種の種雄牛の確保を目的とし、受精卵移植(ET)技術の導入が計画された。2代目隊員は胚移植・回収器具と凍結受精卵の購入、関連法規の整備、パイロットファームにおける移植試験、技術者養成講習会などを実施しており、後任隊員により受精卵移植技術の定着・普及が望まれる。		
	2)期待される具体的業務内容 1.胚移植・胚回収技術の定着・普及 2.人工授精師を対象とした受精卵移植技術者養成講習会のサポート 3.遺伝改良にともなう飼養管理・繁殖管理技術向上のサポート * 下記2点は出来る範囲で実施。 4.受精卵移植産子の血統登録システムの維持・管理 5.受精卵移植産子の中から種雄牛・供胚牛の選抜		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 胚移植器具一式(ドイツminitub社製)、胚回収器具一式(ドイツminitub社製)、実体顕微鏡、乾熱滅菌器、オートクレーブ、ガンマ線滅菌器、(受精卵プログラムフリーザーは購入予定)		

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 獣医師:13名、技術者:9名 (うち遺伝改良チームは獣医師4名/技術者3名、30-50歳代男性)	5)業務使用言語 ◎ 英語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性) 気温(15-30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 5日

要請番号(JL 636 - 10- B - 04)

調査者名: 吉永由美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ルワンダ	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 6360000000001 プロジェクト名 人材育成

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 農業動物資源省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Animal Resources

2) 配属先名 (日本語) ルワンダ動物資源開発公社 獣医療サービスユニット
 (英語) Veterinary service unit, Rwanda Animal Resources Development Authority

3) 任地 キガリ市
 首都(キガリ)から 中心 方向 0 Km
 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同公社は動物資源の開発政策の策定・執行を担当する国の機関。同公社下の獣医療サービスユニットは、国内で発生する動物の感染症を監視し、予防や対策を講じている。検査室では血清学、分子生物学、細菌学、寄生虫学的検査を実施し、地方の獣医師と連携しながら予防接種や疫学調査を実施している。2009年度予算は2,530,200米ドル。同公社内の動物生産ユニットにJV獣医師1名が牛の遺伝改良に従事。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同ユニットには、現場から持ち込まれるサンプルを検査する施設があるが、検査機関としてのシステムが未熟である。業務にあたる技術者たちは、実習材料や設備が不十分な大学でほとんど実技を学んでいないため、基本的な衛生操作に対する意識が低く、また、感染症発生現場で起きていることと、検査室での業務とをリンクさせることができない。以上の問題点を改善すべく、ボランティアと共に検査室の衛生規範や検査システムの構築に取り組みたい意向である。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 検査室における基本的衛生操作・衛生作業の指導
 2. 感染症発生時の疫学状況に応じた病性鑑定システムの構築
 現在実施している検査は以下のとおり(参考)
 血清学検査(ELISA、補体結合反応試験)、分子生物学検査(PCR)、細菌学検査(分離培養、同定、牛乳の体細胞検査)、寄生虫学検査(血液スメア、糞便検査)

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 顕微鏡、PCR関連機器、血液塗抹および糞便検査の基本的機器、細菌培養関連機器、各種ELISAキット

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 獣医師:本部8名、地方5名(30-50代:男性)
 技術者:本部8名、地方13名(30-50代:男性)

5) 業務使用言語
 ● 英語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル:)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: _____
 経験理由: _____
 ・獣医師 理由: 臨床現場との連携も求められるため
 理由: _____

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域 気候(熱帯性) 気温(15-30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 状況 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 6 日

要請番号(JL 024 - 10 - B - 29)

調査者名: 鈴木 幹一郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

プログラム番号・名 0240000000019 プロジェクト名
 農林業・農村振興及び農林業行政強化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 産業商業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Industry and Commerce
	2) 配属先名 (日本語) ウドムサイ県産業商業局 (英語) Provincial Industry and Commerce Department of Oudomxay
	3) 任地 ウドムサイ県サイ郡 首都(ビエンチャン)から 北 方向 600 Km 主要都市(ウドムサイ県サイ郡)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ビエンチャン市にある産業商業省の管轄であり、ウドムサイ県内の各郡産業商業事務所の統括的な位置づけである。職員管理課、国内貿易登録課、手工業管理課、商工業監査課、輸出入管理課、製品販促課の6つの部門から構成されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、ウドムサイ県麻薬コントロール委員会所属の2名の隊員(村落開発普及員)が国連薬物犯罪事務所(UNODC)及び国連工業開発機関(UNIDO)の共同プロジェクトにて、主に芥子栽培代替作物の栽培奨励のための手工芸商品の促進活動に取り組んでいる。同活動の業務が今後、本要請配属先に移管されることとなったため、ウドムサイ県の手工芸商品を中心とする特産品の品質の向上・マーケティング、及び新製品の開発などをさらに発展させるため今回の要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1 ウドムサイ県の特産品に対するマーケティング活動。 2 ウドムサイ県における新たな製品開発。 3 スタッフに対するマーケティング手法のトレーニング。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター及びコピー機など。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 製品販促課所属は4名。 マネージャー(女性、40歳代)他3名のスタッフ。 CP候補となるマネージャーは、現在隣接のProductivity and Marketing Centerマネージャーを兼務。	5) 業務使用言語 ● ラオス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	学歴理由: 指導者の多くが大卒のため。	
	経歴理由: 関係機関や関係者の協議が必要なため	
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ○単車 ●自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(10-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 6月 20日

要請番号(JL 026 - 10- B - 05)

調査者名: 内川 知美

国名	職種/指導科目 (コード 1503)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
東ティ モール	職種 村落開発普及員 指導科目	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	23 / 1
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			2	/
				3	/

年 月 日 から

プログラム番号・名 0260000000001 プロジェクト名 農業・農村開発プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農漁業省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Fisheries

2) 配属先名 (日本語) 農漁業省アグリビジネス局内SIPI(一村一品)タスクフォース
(英語) SIPI Taskforce, Ministry of Agriculture and Fisheries

3) 任地 デリ州
首都(デリ中心部)から 南 方向 0 Km
主要都市(デリ中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
SIPIとは一村一品の現地語略で、2010年5月まで派遣されていた専門家(農業政策アドバイザー)により2008年10月に立ち上げられた。同国で一村一品活動を実施・促進していくために生産者グループと産品の発掘、グループに対する研修や小額機材の提供、広報・マーケティングを実施している。同専門家は既に帰任しているが、タスクフォースとしての活動は継続されている。年間予算は1800万円(2010年)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
東ティモールにおける一村一品(SIPI)活動はまだ始まったばかりである。一村一品活動を促進していくために、農業省アグリビジネス局内に設置されたSIPIタスクフォースメンバーの人材育成および目標達成に向けた活動支援が必要とされている。

2) 期待される具体的業務内容
一村一品運動により生活改善を進める農民グループの運営及び実践能力の向上を図る。以下の取り組みをとって、タスクフォースメンバーの課題対応力の向上をめざす。
 1 タスクフォースメンバーに対する企画・運営・評価手法の紹介と文書作成力の育成
 (活動評価と評価を踏まえた事業提案書作成指導、簡易な現金管理・文書管理・予算作成指導)
 2 広報・宣伝活動及びそのタスクフォースメンバーへの指導
 3 タスクフォースメンバーとともに、農民への各種指導及び一村一品運動の普及・啓発の実施
 文書、パンフレット作成に必要なPCスキル(エクセル、パブリッシャーなど)があることが望ましい。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
PCを含む事務機器

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
カウンターパートはSIPIタスクフォースに関わる農業省スタッフ数名でありレベルは高いが、指導対象者は農業従事者

5) 業務使用言語
◎ インドネシア語 ()
○ その他 (テトゥン語)

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル:)
□ (レベル:)

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: _____
 経験理由: _____
 理由: _____
 理由: _____

活動用交通手段の必要性
有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度
 ×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(熱帯性半乾燥気候) 気温(最低18℃~23℃,最高28℃~33℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 25 日

要請番号(JL 027-10-B-08)	調査者名: 岩崎弥生
------------------------	------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 0270000000031 プロジェクト名 メコンデルタ地域における効果的農業手法・普及システム改善プロ
 メコンデルタ地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ビンロン省人民委員会農業農村開発局 (受入機関名)(英語) People Committee of Vinh Long province
	2)配属先名 (日本語) ビンロン省人民委員会農業農村開発局 (英語) People Committee of Vinh Long province
	3)任地 ビンロン省タンビン 首都(ハノイ)から 南 方向 1800 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 省、郡ともに予算が下りプロジェクトが形作られたときのみ、事業が行われる。これまで行われたプロジェクト例としては、Viet GAP(小規模複合農業)、苗木の無償供給、マイクロ・クレジット、水田、果樹園における野菜栽培支援(種苗)、水産(稚魚無償支給)、ドラゴンフルーツの研究栽培。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2009年10月より南部果樹研究所(SOFRI)には長期専門家が派遣され、プロジェクトが開始されている。その目的は、農家が効果的な果樹栽培を行えるような栽培手法や、適切な病害虫防除にかかる知識・技術を獲得するための普及体制を確立することである。しかし、メコンデルタにはまだ農協や農民グループが育っていない。そこで農村に住み、農民グループを作ったり、ベトナム人普及員の活動を支援したりするなかで、人間関係を作り情報を収集するなどの、普及体制作りを支援する活動への期待から、ボランティア派遣への協力要請があげられた。		
	2)期待される具体的業務内容 南部果樹研究所に派遣されている2名の長期プロジェクト専門家と協力して、以下の活動を行う。 (1)情報収集・・・専門家が技術指導をしている果樹農園がある農村に住む。農民と生活をともにするなかで、普及体制作り役に役立つ情報を収集する。 (2)農業手法の普及支援・・・農園を指導して回るベトナム人普及員の、活動を支援する。これについては配属後しばらくは南部果樹研究所内で専門家から支援方法について説明を受ける予定である。 (3)普及組織の体制強化・・・農民たちがグループを作ったり、作ったグループを育てていくことを支援する。また(1)(2)の活動のなかで発見した問題や解決法について専門家と情報を共有する。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、他		
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 省の防疫局に5名(大卒)、普及局に5名(大卒)	5)業務使用言語 ● ベトナム語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒	性別理由: 学歴理由: 同僚が大卒であるため
	・小型自動二輪以上	経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車			×

活動上必要なため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯気候) 気温(25~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 1月 7日

要請番号(JL 027-10-B-11)

調査者名:岩崎弥生

国名	職種/指導科目 (コード 1503)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 村落開発普及員	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日

プログラム番号・名 0270000000031 プロジェクト名
 メコンデルタ地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) カマウ省人民委員会 (受入機関名)(英語) People Committee of Ca Mau province
	2)配属先名 (日本語) 農業農村開発局 (英語) Department of Agriculture and Rural Development of Ca Mau province
	3)任地 カマウ省カマウ市 首都(ハノイ)から 南 方向 2000 Km 主要都市(ホーチミン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 主な事業内容は、次のようなものである。 ①農業・水産業における生産指導 ②植林・森林管理 ③灌漑施設工事 ④住民の住宅地区再編成 ⑤農村開発 年間予算は、約22万USD。外国からの援助は、現在JICAからのみ。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) カマウ省ウミンハ地区で2002年3月に発生した大規模な森林火災は約6,000ヘクタールの森林を焼失し、人々の生活・生計に大きなダメージを与えた。同地区は農業に不適な酸性硫酸塩土壌が広く分布しており、メラルーカが限られた産物の1つとなっている。JICAは2004年から3年間にわたる「森林火災跡地復旧計画」等を通じて支援を行ってきたが、メラルーカ材は安値で販売され住民の所得は依然低く、森林資源を有効に活用し所得向上に繋げていくための取り組みが求められている。また過去に起こったような森林火災を未然に防ぎ、森林資源を持続的に保全していくことも重要な課題となっているためボランティアの要請となった。
	2)期待される具体的業務内容 農業農村開発省に派遣されている地域開発アドバイザー(専門家)と協力しながら、以下の活動を行う。 ①森林資源を活用した所得向上にかかる支援...カマウ省には約39,000haのメラルーカ林がある。森林公社や世帯レベルにおけるメラルーカの造林状況、販売等の実態を調査し、それらを所得向上に繋げていくための取り組みを支援する。 ②森林火災予防や森林保全に関する意識啓発活動...「森林火災跡地コミュニティ開発支援計画」で整備した森林火災監視ステーションを活用した森林火災予防、森林保全にかかる意識啓発・環境教育プログラムの実施を支援する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、デジタルカメラ

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 森林検査分野従業者 35名 林業分野従業者 13名 農村関係従業者15名	5)業務使用言語 ● ベトナム語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	-------------------------------------	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由:配属先のスタッフとして必須
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由:活動上必須
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輜 ●単車 ○自転車 自転車で活動可能であるが、単車があれば範囲が広がる期待がある。			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯気候) 気温(25~35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 1 月 7 日

要請番号(JL 027 - 10- B- 12)

調査者名: 岩崎 弥生

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				

プログラム番号・名 0270000000031 プロジェクト名
 メコンデルタ地域開発プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) カマウ省人民委員会 (受入機関名)(英語) People Committee of Ca Mau province
	2) 配属先名 (日本語) 農業農村開発局 (英語) Department of Agriculture and Rural Development of Ca Mau province
	3) 任地 カマウ省カマウ市 首都(ハノイ)から 南 方向 2000 Km 主要都市(ホーチミン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 主な事業内容は、次のようなものである。 ①農業・水産業における生産指導 ②植林・森林管理 ③灌漑施設工事 ④住民の住宅地区再編成 ⑤農村開発 年間予算は、約22万USD。外国からの援助は、JICAからのみ。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) カマウ省ウミンハ地区で2002年3月に発生した大規模な森林火災は約6,000ヘクタールの森林を焼失し、人々の生活・生計に大きなダメージを与えた。同地区は農業に不適な酸性硫酸塩土壌が広く分布しており、メラルーカが限られた産物の1つとなっている。JICAは2004年から3年間にわたる「森林火災跡地復旧計画」等を通じて支援を行ってきたが、メラルーカは収穫までに最短でも7~8年の歳月を要することから、安定した収入を得ていくためには技術協力にて実施した複合経営を含む農業を中心とした収入源の多様化や、住民のニーズに対応した技術指導が必要であるためボランティアの要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 農業農村開発省に派遣されている地域開発アドバイザー(専門家)と協力しながら、以下の活動を行う。 ①農村調査、社会調査等を実施し、ウミンハ地区の農村が抱える問題点を整理し、その解決や生計向上に向けた提言、計画づくりを行う。 ②カマウ省農業普及センターと連携し、過去の技術協力で実施した農業複合経営の技術を普及していくための研修やトレーニングプログラムの企画・運営を支援する。 ③村落ごとの農業普及のための住民組織の設立と運営を支援し、コミュニティ内の農業技術・知識の共有化を図る。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、デジタルカメラ	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 森林検査分野従業者 35名 林業分野従業者 13名 農村関係従業者15名	5) 業務使用言語 ● ベトナム語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	性別理由:
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 配属先のスタッフとして必須
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 活動上必須
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車 自転車で活動可能であるが、単車があれば範囲が広がる期待がある。			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯気候) 気温(25~35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------	---

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22 年 6 月 23 日

要請番号(JL 051 - 10- B - 05)

調査者名: 高田 真砂子

国名	職種 / 指導科目 (コード 1503)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
バングラ デシュ	職種 村落開発普及員	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			3	23 / 3
プログラム番号・名 0510000000014 農業・農村開発		プロジェクト名			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 首相府 NGO局 (受入機関名)(英語) Prime Minister's Office, NGO Affairs Bureau
	2) 配属先名 (日本語) NGO ダスコ (英語) DASCOP (Development Association for Self-reliance Communication and Health)
	3) 任地 ラッシャヒ県ショドール郡 首都(ダッカ)から 北西 方向 270 Km 主要都市(ダッカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1995年にスイス赤十字社によって設立された国際NGO。本部をラッシャヒ県に置き、ラッシャヒを含む2県で飲料水と行政能力向上、公衆衛生の2プロジェクトを実施中。1は「貧困地域住民の安全な飲料水の確保と地方行政サービス提供能力向上」2は「住民の公衆衛生サービスへのアクセスの向上」を目的とした活動を行っている。現在56人のスタッフを雇用し、敷地内には質の高いゲストハウスも運営。年間予算は、約1億円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA参加型村落開発プロジェクト(PRDP II 日本人専門家とDASCOPスタッフが相互訪問し、住民に一番近い地方行政サービス提供先としてのユニオン役場の運営能力向上支援に共通点を見出した。PRDP II プロジェクト連携でユニオンレベルに派遣されていたボランティア(村落開発普及員)が、現地語で住民のニーズを汲み取り、地方行政との架け橋となり活動していることを高く評価している。ダスコが実施中のプロジェクト「貧困地域住民の安全な飲料水確保と地方行政サービス提供能力向上」でユニオンレベルで活動するファシリテーターと協働で地域住民の参加を促進する日本人ボランティアの協力が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1「貧困地域住民の安全な飲料水確保と地方行政サービス提供能力向上」プロジェクト実施現場を巡回し、各ユニオンに配属されているファシリテーターと共に住民参加による安全な水活用計画実施を支援する。 2.ファシリテーターと共に飲料水源維持管理状況モニタリングとアドバイスを行う。 3.ユニオン役場による、地域の水資源管理を含む包括的な地域開発計画の作成と実施促進及び、政府や他NGO 組織などとのネットワーク構築にも協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクトマネージャー(女性、40代) ファシリテーター17人(ユニオン役場事務所配属)	5) 業務使用言語 ◎ ベンガル語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
------------------	--	--------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
			性別理由:
	・学歴 大卒		学歴理由: 同僚は大学及び大学院卒業レベル。
	・小型自動二輪以上		経験理由: 理由: 巡回型活動のため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10-40℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 8 月 10 日

調査者名: 築山佳代子

要請番号(JL 057 - 10- B- 05)

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モルディ ブ	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	23 / 1
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			2	23 / 3
				3	/

プログラム番号・名 0578888888888 プロジェクト名
 その他

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Home Affairs
	2) 配属先名 (日本語) フォームラク社会基盤開発協会(NGO) (英語) Fuvahmulah Association of Developing Infrastructure
	3) 任地 ニャヴィヤニ環礁フォームラク島 首都(マレ)から 南 方向 494 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同協会は、フォームラク島の青少年育成及び人材育成をめざして2008年に設立されたNGOである。UNDPや青年スポーツ省と協力して同島での農業促進プログラムを行っている。年間予算は約37万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農作物自給率がほぼ0%のモルディブであるが、近年野菜の需要が高まっており、モルディブ第3位の広さを誇るフォームラク島では農業が普及しつつある。2009年の農業従事者は約100名。主な栽培はキュウリ、ナス、にんじん、スイカ、キャベツ、ビート、かぼちゃ、サツマイモ、唐辛子、豆、バナナ、マンゴ、パッションフルーツ、パイナップルなどの野菜・果物。今後のさらなる農業普及のため病虫害対策を含めた栽培方法に関する知識と経験、アイデア等を備えた指導者を必要としている。また、同島での空港建設後は野菜の島内消費だけでなく、首都、リゾート島へ出荷する可能性があるため、将来的には市場開拓への支援も期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 <ul style="list-style-type: none"> 農家を巡回して栽培方法や病虫害対策方法等について助言する。 農産物生産促進に関するワークショップを企画・開催する。 同地の土壌に適した品種を農家の人々とともに選択する。 新たに選択した品種の栽培方法及び施肥方法確立のサポートを行う。 NGOメンバーとともに農家以外の住民を対象に野菜摂取の必要性及び重要性を説く啓蒙活動を行う。 将来的に他島への出荷が始められれば、農家やNGOメンバーと一緒に市場開拓の支援を行う。 		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 野菜栽培に必要な基本的農機具、隊員到着後必要機材を調達予定。		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 安全対策のため。
	・学歴 高卒 農学	学歴理由: 農業の支援を行うため。
	・経験 実務経験 2年以上	経験理由: 経験に基づく指導を行うため。

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン気候) 気温(25-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 22年 5月 30日

要請番号(JL 060 - 10 - B - 01)

調査者名: 佐野 千裕

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			1 23 / 1	年 月 から
				2 23 / 3	
			3 /		

プログラム番号・名 0600000000028 プロジェクト名
地方政府とコミュニティのエンパワメント

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Development
	2) 配属先名 (日本語) バグルン郡開発委員会 (英語) District Development Committee (DDC), Baglung
	3) 任地 バグルン郡バグルン 首都(カトマンズ)から 西 方向 250 Km 主要都市(ポカラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 郡の開発計画を取りまとめている行政機関であり、主な業務は、郡の年間開発計画やガイドラインの策定・実施・モニタリング・評価である。また、貧困削減のために地域開発事業や各行政機関の調整なども行っている。数多くの国際機関からの支援を受けて、地方行政及びコミュニティの能力強化を目指したプログラムを実施中。同郡で実施中のJICAプロジェクトの協力機関でもある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は各村落に出先機関を持ち、村落部のコミュニティ及び地域開発に取り組んでいる。村落部には、地域活性化を促進する普及員がおり、特に社会的に弱い立場の人々の声が上がるよう参加型の村づくり活動を行っている。今後、さらに普及員の能力や行政組織との連携強化を図り、より効果的な活動支援が必要とされているため、ボランティアの要請に至った。また、異なったバックグラウンドを持ったJOCVを受け入れることにより、新しいアイデアを取り入れた村づくり活動が期待されている。JOCVの受け入れは初めてである。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 現地スタッフとともに村落部を巡回し、住民同士の話し合う機会を作り、ニーズを把握する。 2. 村落住民とともに、住民参加型の村づくりを促進させる計画策定や実施支援を行う。 3. 定期的に郡レベルへの情報提供を行いながら、村落部と郡レベルのネットワーク強化支援を行う。 ※専門的な経験や知識は必要としないが、関係者を巻き込むコミュニケーション能力と行動力が期待される。また、村落部の不便な生活に楽しんで活動できる適応力も必要とされる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由: _____		
	学歴理由: _____		
	経験理由: _____		
	理由: _____		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域況 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(□安定 ●不安定 □なし)
電話(●インターネット可 ●通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ●不安定 □なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 5 月 30 日

要請番号(JL 060-10-B-03)

調査者名:佐野 千裕

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 0600000000028 プロジェクト名
 地方政府とコミュニティのエンパワメント

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) バグルン特別支援学校 (英語) Mentally Retarded Special School, Baglung
	3)任地 バグルン郡バグルン 首都(カトマンズ)から 西 方向 250 Km 主要都市(ポカラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 知的障害者に対する総合的サービスを提供するNGOの管轄で設立された特別支援学校である。登録児童は、約140名だが、定期的に通ってくる児童は約50名(ほとんどが知的障害児)。4名の教師で日々のクラスを運営している。また、月一回程度の実地訪問や啓発活動にも取り組んでいる。政府からの支援は教師の給料のみ。現地NGOからの支援を受けながら運営を行っており、外国からの援助は特になし。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ネパールにおいて、知的障害者福祉事業に対する政府の援助はほとんどなく、NGOなどが独自に支援を行っているのが現状である。また、この分野に従事するスタッフは、数ヶ月の研修を受けただけで、人材の専門性は極めて低い。同配属先のスタッフも同様で、知的障害者への対応方法、基本的な理学療法やコミュニティへの啓発活動等に関する技術や知識が不足している。そのため、日々のクラス運営の向上支援を行いながら、コミュニティへの啓発活動の強化支援ができるJOCVの要請に至った。JOCVの受入は初めてである。		
	2)期待される具体的業務内容 1. 同僚スタッフとともにクラス運営への実践指導を行い、クラス運営の改善及び向上を目指す。 2. コミュニティにおける障害者分野の啓発状況を把握し、啓発活動の強化支援を行う。 3. 障害者分野を支援する関連機関との連携が強化されるような取組みや提言を行う。 ※同分野のボランティア(理学療法や作業療法等)と協力しながら、配属先に必要な知識や技術の支援も期待される。知的障害者支援の知識・経験があることが必須。		
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長1名(男性)、教員4名(女性)、アドバイザー1名(男性)	5)業務使用言語 ● ネパール語 () ○ ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	-------------------------------------	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由: ・知的障害者支援経験2年以上 理由: 主な業務が知的障害者に係る内容であるため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車	H		x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (●:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
	水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 2 日

調査者名:佐野 千裕

要請番号(JL 060 - 10- B - 04)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 0600000000028 プロジェクト名
 地方政府とコミュニティのエンパワメント

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Development
	2) 配属先名 (日本語) シャンジャ郡開発委員会 (英語) District Development Committee (DDC), Syangja
	3) 任地 シャンジャ郡シャンジャ 首都(カトマンズ)から 西 方向 230 Km 主要都市(ボカラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 郡の開発計画を取りまとめている行政機関であり、主な業務は、郡の年間開発計画やガイドラインの策定・実施・モニタリング・評価である。また、貧困削減のために地域開発事業や各行政機関の調整なども行っている。数多くの国際機関からの支援を受けて、地方行政及びコミュニティの能力強化を目指したプログラムを実施中。JICAプロジェクト「ジェンダー及び社会的包摂促進」のC/P機関である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は各村落に出先機関を持ち、村落部のコミュニティ及び地域開発に取り組んでいる。村落部には、地域活性化を促進する普及員がおり、特に社会的に弱い立場の人々の声が上がると参加型の村づくり活動を行っている。今後、さらに普及員の能力や行政組織との連携強化を図り、より効果的な活動支援が必要とされているため、ボランティアの要請に至った。また、異なったバックグラウンドを持ったJOCVを受け入れることにより、新しいアイデアを取り入れた村づくり活動が期待されている。JOCVの受け入れは初めてである。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 現地スタッフとともに村落部を巡回し、住民同士の話し合う機会を作り、ニーズを把握する。 2. 村落住民とともに、住民参加型の村づくりを促進させる計画策定や実施支援を行う。 3. 定期的に郡レベルへの情報提供を行いながら、村落部と郡レベルのネットワーク強化支援を行う。 ※同地域でJICAが実施しているジェンダー及び社会的包摂促進プロジェクトや関連ボランティアと緩やかな連携を持ちながら活動することが期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長1名(男性)、事務所スタッフ約30名、村役場長6名	5) 業務使用言語 ◎ ネパール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経歴理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況域 気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号(JL 060 - 10- B - 06)

調査者名: 佐野 千裕

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				

プログラム番号・名 0600000000028 プロジェクト名
地方政府とコミュニティのエンパワメント

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 女性子ども社会福祉省 (受入機関名)(英語) Ministry of Women, Children and Social Welfare
	2) 配属先名 (日本語) タナフ郡女性開発事務所 (英語) Women Development Office (WDO), Tanahu
	3) 任地 タナフ郡ダマウリ 首都(カトマンズ)から 西 方向 150 Km 主要都市(ボカラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全国に設置された女性開発局の郡事務所のひとつ。主な事業は、女性の社会・経済的地位の向上を目指した女性の組織化、小規模ビジネスの支援やジェンダー問題・保健などの研修を通じた啓発活動。これまで他郡の女性開発事務所へ JOCVを派遣しており、現在も活動中である。また、同配属先を管轄する女性開発局は、JICAプロジェクト「ジェンダー主流化及び社会的包摂促進」の協力機関でもある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当該女性開発事務所は、すでに村落女性の組織化がほぼ完了している。女性組合では、女性たちが自立していくために、所得向上活動や小規模ビジネス活動のあり方も検討しながらも少しずつ展開を開始している。現在派遣中のJOCV(2011年6月まで)は、選定した女性協同組合とともにバイオ燃料の抽出や植物加工を通じた収入向上活動や村落部の地域開発活動を行っている。引き続き、女性協同組合のメンバーで運営できる能力向上及び収入向上活動のための支援を行っていく必要があるため、後任の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 関係スタッフとともに、以下の活動を行う。 1. 対象村落部及び女性協同組合の自立支援(収入向上活動や地域開発活動) 2. 現在実施中の収入向上活動(バイオ燃料の抽出や植物加工)を促進させるための取組み支援 3. 郡内で関連する機関との協力や連携を強化するための調整やアドバイス支援 ※専門的な経験や知識は必要としないが、何事も楽しんで活動できる前向きさと誰とでも打ち解けるコミュニケーション能力が求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ14名(所長1、スーパーアドバイザー1、チーフ女性ワーカー5、女性ワーカー4、会計1、ヘルパー2)。ほとんどが女性。30歳代後半～40歳代後半。経験年数は10年～20年以上。	5) 業務使用言語 ● ネパール語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別 女性 性別理由: 対象者のほとんどが女性であるため
	学歴理由:
	経歴理由:
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(亜熱帯) 気温(0-35℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 4月 20日

要請番号(JL 124 - 10 - B - 01)

調査者名: 山本 昭夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パプア ニューギ ニア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 2	
指導科目(英)	3	23 / 3				
プログラム番号・名 1240000000005		プロジェクト名				
コミュニティ開発プログラム						

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 西ニューブリテン州政府 (受入機関名)(英語) West New Britain Provincial Administration
	2) 配属先名 (日本語) コミュニティー開発局 (英語) Division for Community Development, West New Britain Province
	3) 任地 キンベ 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 600 Km 主要都市(キンベ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コミュニティー開発省とJICAの協力による総合コミュニティー開発プロジェクトが展開される中、地方での社会福祉関連事業の必要性が高まってきている。総合コミュニティー開発政策(ICDP)の広がりと共に、今後の社会事業の有るべき姿を模索しつつ、地域学習開発センター(CLDC)等を利用した地域開発事業を実践している。スタッフ数8名、2010年度予算50万キナ(約2000万円)を予定。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 州コミュニティー開発局の課題は、資金不足、人材不足、インフラ不足をあげている。このような状況の中で、ピアラ市にあるCLDCでは、地域住民が自らの必要とする開発課題に取り組み、青年の育成、女性の地位向上、弱者(子ども、老人、障害者)への支援、現金収入の増加等を実践してきている。センターを利用しての各種情報の普及、病気の予防・啓発活動、スポーツ、イベントを行ってきている。同局は、予算が配分されれば対応できるが、人材の確保は難しく、現在活動に参加している人たを育成することを計画して、隊員と一緒に実践をしながら技術が習得できるような展開を想定して、ボランティアを要請してきた。		
	2) 期待される具体的業務内容 さまざまな活動が期待されるが、全てではなく、出来ることから活動として開始できることが期待されている。 ①活動計画書の立案・実施・評価、②女性・子供・障害者のへの支援活動、③地域住民の現金収入増加、④若者サークルの活動の活発化、⑤保健衛生、HIV予防等の啓発・啓蒙活動などをスタッフ、参加者と一緒に活動をする。 インフラの不備、予算・人材の不足という環境の中で、最大の成果挙げる活動展開を期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務機器他(特殊機材はない)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 局長50歳代/女性、30歳代/男性、他6名のスタッフ	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジネ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・性別 男性	性別理由: 安全対策上
	・経験 社会経験	学歴理由: 経験理由:
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 124-10-B-03)

調査者名: 山本 昭夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	指導科目			2	23 / 3
	職種(英) Rural Community Development			3	/
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名 1240000000004 プロジェクト名
 食糧自給改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) マダン州政府 (受入機関名)(英語) Madang Provincial Government
	2) 配属先名 (日本語) 農業畜産局 (英語) Division of Agriculture and Livestocks
	3) 任地 マダン 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 400 Km 主要都市(マダン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マダン州はニューギニア島北部に位置し、農業を主な産業として、鉱業、観光に力を入れている。配属先は州全体の農畜産業振興を目的として、州政府の事業を統括している。最近の主食となる米の増産を目指して各地区担当官の指導やモニタリングを主な業務としている。スタッフは10名で、食糧自給・換金作物・スパイス・コーヒー・畜産・ココナッツなど農業全般を担当している。2010年予算は約23万キナ(約900万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 主食が米に移りつつある中、米の自給率は非常に低く、その殆どが海外からの輸入に頼っている状態である。食料安全保障の観点から、米の自給率の増加は重要な課題となっており任国全体で稲作普及が進められている。しかし、稲作について十分な技術を持つ担当官に限られていて、専門的な知識や技術が求められている。農家への増産技術普及、同時に、スタッフの技術向上が必要とされている。後任の要請であるが、2008年まで専門家が配属されていて、その普及活動の延長線上にあるといえる。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の担当官と共に、州全体への稲作普及に向けて農村における巡回指導や学校での農業実習を行う。具体的には、①農家に対し種籾の選別や苗床作りから収穫、保存の仕方等の指導、②農村への手動式精米機の普及・指導、③学校の農業クラスのひとつとして生徒に播種から収穫までを体験させる授業の実施、④学校の生徒や村落の住民に対しての稲作への啓蒙活動、などが期待されている。対象となる稲作は陸稲で野菜栽培に近く、任国内の農業研修所で技能を養うことが可能である。知識や経験よりも、現場の状況に応じて様々な工夫ができることが求められている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 動力精米機、小型トラクタ、鋤等農器具		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先カウンターパート、稲作担当官、食料保障担当	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジネ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別	男性	性別理由: 安全対策上
			学歴理由:
			経歴理由:
	・小型自動二輪以上	理由: 普及活動に必要	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-33℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22年度秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22年 7月 9日

調査者名: 山本 昭夫

要請番号(JL 124 - 10 - B - 04)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パプア ニューギ ニア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 2	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名 食料自給改善プログラム		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ウェスタン州政府 (受入機関名)(英語) Western Provincial Administration
	2)配属先名 (日本語) 農業畜産局 (英語) Division of Agriculture & Livestock
	3)任地 キウंगा 首都(ポートモレスビー)から 北西 方向 750 Km 主要都市(キウंगा)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 主な事業は、ゴム・バナナ・米等の作物、豚・鶏等の家畜飼育の普及活動で、年間予算は10万キナ(約400万円)。他の援助機関(鉱山会社、教会、技術養成学校など)と連携して活動を行うことも多い。女性の農業参加によるエンパワメントを目的としたプログラムWIA(Woman In Agriculture)も行っている。商業局との連携も進んでいて、協同組合活動の活性化も目指している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 稲作技術の普及は必要であるが、焼畑栽培のためそれほど高い技術レベルは求められていない。米の需要が高まりつつあるものの、導入されて間もない稲作技術の普及体制が整っていないことから、その普及システムの整備が求められている。更に任地のキウंगाはインフラの未発達や食糧の生産量不足のために、食糧の物価が著しく高くなっている。そのため住民は日々の食糧の殆どを採集に依存しているが、1家族の人数が多いためそれぞれの栄養状態は満たされていない。まずは、増産を目指し、自給、そして販売につながるような栽培普及が求められている。
	2)期待される具体的業務内容 食糧の安定的確保を目的とした啓発活動である。配属先にある展示用の畑に作物を作り、栽培の可能性を住民とともに試行錯誤し、確立しようとする取り組み。この活動と平行して、現地にそくした農業経営のあり方や具体的な方法を考え、実践するワークショップを学校、職業訓練校、住民グループなどで開催する。とくに住民グループには農業共同組合の組織化の意義を説くことが期待されている。なお農業栽培(陸稲、野菜など)の知識レベルは現地の農業機関での研修で補える程度である。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、電話、FAX、精米機(ヤンマー製)、手動精米機、各種農機具など

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフは7名、30-50代の男女で殆どが農業分野の学位を取得。指導対象は近隣の住民で、自身で食物を栽培した経験があるものは少なく、食物を栽培する習慣もない。	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビジン語)	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	--	---------------------------------------

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	・性別 男性 性別理由: 安全対策上
	学歴理由:
	経験理由:
・小型自動二輪以上	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(28-34℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	--



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 9 日

要請番号(JL 124-10-B-05)

調査者名: 山本 昭夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			2	23 / 3
				3	/

プログラム番号・名 1240000000004 プロジェクト名 食糧自給改善プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ブーゲンビル自治政府 (受入機関名)(英語) Autonomous Bougainville Government
	2) 配属先名 (日本語) 一次産業局 (英語) Division of Primary Industry
	3) 任地 ブカ 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 800 Km 主要都市(ブカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ブーゲンビル自治政府は、農業を主な産業として、鉱業、小規模産業育成に力を入れている州である。2010年に州知事選挙も終了し、これから経済、社会開発を進めていこうとしている。配属先は州全体の農畜産業振興を目的として、州政府の一次産業を統括している。最近の主食となる米の増産を目指して各地区担当官の指導やモニタリングを主な業務としている。年間予算は約20万キナ(約700万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 主食が米に移りつつある中、米の自給率は非常に低く、その殆どが海外からの輸入に頼っている状態である。食料安全保障の観点から、米の自給率の増加は重要な課題となっており任国全体で稲作普及が進められている。しかし、稲作について十分な技術を持つ担当官は少なく、育成も必要。農家が米増産をするための技術普及、同時に、スタッフの技術向上が必要とされている。水田の普及にも興味を持っている。2008年まで専門家が配属されていて、その普及活動の延長線上にある活動といえる。		
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の担当官と共に、州全体への稲作普及に向けて農村における巡回指導や学校での農業実習を行う。具体的には、①農家に対し種籾の選別や苗床作りから収穫、保存の仕方等の指導、②農村への手動式精米機の普及・指導、③学校の農業クラスのひとつとして生徒に播種から収穫までを体験させる授業の実施、④学校の生徒や村落の住民対しての稲作への啓蒙活動、などが期待されている。対象となる稲作は陸稲で野菜栽培に近く、任国内の農業研修所で技能を養うことが可能である。知識や経験よりも、現場の状況に応じて様々な工夫ができることが求められている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 動力精米機、小型トラクタ、鋤等農器具		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 一次産業局長、配属先カウンターパート	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (ビジネ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・性別 男性 性別理由: 安全対策上		
	・小型自動二輪以上 理由: 普及活動に必要		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-33℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	---



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 6 月 22 日

要請番号(JL 127 - 10 - B - 04)

調査者名: 中原 二郎

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ソロモン	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	23 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	23 / 3	
指導科目(英)	3	/				
プログラム番号・名 地方産業開発		プロジェクト名				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育・人材資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Human Resource Development
	2) 配属先名 (日本語) APSD ソロモン (英語) APSD Solomon Islands (Asia Pacific Sustainable Development)
	3) 任地 マライタ州 フィウ村 首都(ホニアラ)から 北東 方向 150 Km 主要都市(アウキ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2001年現地NGO登録の日系NGO。国内紛争復興事業や有機農業を通じた人材育成、地域開発事業を実施。傘下にはパーマカルチャーセンター(PCC、稲作・野菜・家畜・森林経営に関する職業訓練校)とソロモンオーガニックセンター(SOC、農産物買取り・加工・販売センター、レストラン)がある。2006年からJICA草の根パートナー事業によりマライタ州内で有機農業普及を実施中。予算は約US\$38,000。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者はSOCにおいてレストラン等での簡単な会計指導、接客サービス指導、新商品開発、メニューの充実化などを通じた現地人スタッフの人材育成を行っている。PCCでは、加工食品の商品開発プログラムを立ち上げ、訓練校および周辺村の女性を対象として講習会を行っている。これらの活動を引き継ぎ、たとえば食生活改善プログラムなどを立ち上げるなどして、発展させていくことが望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・パーマカルチャーセンターで、簡単な会計指導、接客サービス指導、新商品開発などを通じ人材育成を行う。 ・ソロモンオーガニックセンターで、生徒ならびに周辺村住民を対象に、市場ニーズに合致した新たな加工食品の開発、食生活の向上など、主に食に関わるプログラムを企画立案し、実践する。(さつま芋、タロ芋、ヤム芋、キャッサバ、バナナ、マンゴ、パパイヤ、ライム、パインなどへの取り組みが期待されている。)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PCC: 手作りドラム缶パン焼釜 2台/小型乾燥機 1台 SOC: パソコン(教材作成用)、フードウォーマ、ガスストーブ、冷蔵庫、冷凍庫、ミキサー、スライサー		
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ:PCC/インストラクター10名 SOC/スタッフ5名 指導対象者:20代男女 食品加工担当:20台女性3名(SOCスタッフ)	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (ビジ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	・性別 女性	性別理由: 女性の地位向上を目指すプログラムの為	
	・経歴 社会経験 3年以上	経歴理由: 指導対象者に社会経験があるため	
		理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(20-35℃位)	電気(☐安定 ☐不安定 ☑なし)
電話(☐インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☑なし)		水道(☐安定 ☐不安定 ☑なし)



平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 7 日

要請番号(JL 130-10-B-10)

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 1
	指導科目			2	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	23 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

プログラム番号・名: 自然環境保全プログラム
プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) 国土調査天然資源省
(受入機関名)(英語) Ministry of Land and Survey, Natural Resources

2) 配属先名 (日本語) ババウ支局
(英語) Va'vau branch

3) 任地 ババウ島ネイアフ
首都(ヌクアロファ)から 北東 方向 300 Km
主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
国土調査天然資源省の主な業務は土地の登記、地質局(地震観測)、地図の作製、気候変動対策、地下水のモニタリング等を実施している。ババウ支局では気候変動対策に関連する再生可能エネルギー政策等を担当している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
ババウ島では日本の無償資金協力によるSolar Home System Project(以下SHS)とごみ処理システムの改善計画が進んでおり、SHSでは無電化地域の離島約400戸にSolar Systemが導入され、このシステムの適切な運用に期待がかかっている。また、同配属先は環境教育やごみの減量化についても活動しており、出来る範囲内で環境教育にも関連した活動がボランティアに期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
1. Solar Systemの修理やメンテナンスをトレーナーや各島のテクニシャンに指導する。
SHSプロジェクトにはソフトコンポーネントとしてトレーナーやテクニシャンの指導が含まれており、ボランティアはこのソフトコンポーネントをフォローする。
2. Solar Systemのトラブルシューティングについての指導を行う。
3. 学校や地域社会に対し、ごみの減量化を目的とした啓発活動や環境教育(3R)等を出来る範囲内で実施する。
Solar Systemはそれほど複雑な回路を使っておらず、ボランティアもSHSプロジェクトに含まれる研修会に参加することで対応できると思われ、専門的な知識は必要としない。電気に興味があれば良い。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
基本的な修理工具とスペアパーツ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性1名、EPUの担当者、年齢30歳代	5) 業務使用言語 ◎ 英語 () ○ その他 (トンガ語)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
---	---	--

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
性別理由:
学歴理由:
経験理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ○単車 ◎自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域 気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

平成 22 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 22 年 7 月 1 日

要請番号(JL 227-10-B-01)

調査者名: 藤田 久美子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサルバドル	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	23 / 2
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			2	23 / 3
				3	/

プログラム番号・名 2270000000011 プロジェクト名 防災体制の強化

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) サンルイスタルパ市役所 (受入機関名)(英語) San Luis Talpa City Hall
	2) 配属先名 (日本語) サンルイスタルパ市役所 (英語) San Luis Talpa City Hall
	3) 任地 ラパス県サンルイスタルパ市 首都(サンサルバドル市)から 南東 方向 45 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 中部ラパス県にあり、人口は約3万人。市役所は住民への住居へのサービス提供、公共事業を行う地方行政実施機関であり、2008年の予算は2,205,363ドル。 防災についてはGTZ(ドイツ技術協力公社)、国際赤十字等によるコミュニティ向けの直接的支援実績あり。同自治体においては低地地域において河川の氾濫などによる水害に悩まされている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 中米6カ国を対象にコミュニティ及び自治体の防災能力の向上、及び当該各国防災機関及びSICA(中米統合機構)中米防災センターにおけるコミュニティ防災を推進する能力が強化されることを目的に、2007年より技術協力プロジェクト「中米広域防災能力向上」が実施されている。当国においては、2名の専門家が派遣され、対象自治体に対し自治体の防災に係る能力強化、自然災害に備えた避難体制強化等の指導を行っているが、各対象自治体で1年間の指導終了後、防災委員会のさらなる活動強化、コミュニティ防災に対する住民の意識、体制向上フォローを実施するために、青年海外協力隊派遣による協力が求められた。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 任地自治体レベル、当該自治体内のコミュニティレベルの防災委員会の組織・体制強化のための調整、防災計画実施に係る支援を行う。 2. 定期的な防災訓練実施に係る支援、指導を行う。 3. 地域住民に対し、防災知識、防災に対する体制が向上されるよう啓発活動を計画・実施する。住民に対する講習会の実施、学校を通じた児童・生徒への防災教育実施など。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。		

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 市役所職員(防災担当)男性、30歳代 コミュニティのリーダー、住民、小中学生等			5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル:) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			性別理由:	
				学歴理由:	
				経験理由:	
				理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯気候) 気温(30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)